

大学番号：私569

[平成18年度設置]

計画の区分：学部の設置

認可

長崎国際大学 薬学部

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 九州文化学園  
平成23年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 経営企画室

職名・氏名 ツキヤマ 薬山 キヨコ 記代子

電話番号 0956-39-2020

（夜間） 090-2717-8786

F A X 0956-39-3111

e-mail kaikaku@niu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学新設の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」  
「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。  
「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 九州文化学園

## (2) 大学名

長崎国際大学

## (3) 大学の位置

〒859-3298

長崎県佐世保市ハウステンボス町2825番7

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(アベ ナオキ) 安部 直樹 (平成10年4月)		
学長	(ワダ コウジ) 和田 光史 (平成12年4月)	(シオタニ ヨシコ) 潮谷 義子 (平成21年4月)	前職者の退職による(21)
学部長	(ヒメノ マサル) 姫野 勝 (平成18年4月)		
学科長等	(サカキバラ リュウゾウ) 榊原 隆三 (平成18年4月)	(ヤマモト ツネユキ) 山本 経之 (平成22年4月)	任期満了による交代(22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
薬学部 薬学科  学士(薬学)	6年	120人	0人 年次人	720人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120 ( ) [ - ]	-	120 ( ) [ - ]	-	120 ( ) [ - ]	-	120 ( ) [ - ]	-	120 ( ) [ - ]	-	120 ( ) [ - ]	-	0.82倍	
志願者数	486 ( ) [ - ]	-	450 ( ) [ - ]	-	364 ( ) [ - ]	-	275 ( 2 ) [ - ]	-	267 ( 1 ) [ - ]	-	273 ( 1 ) [ 9 ]	-		
受験者数	466 ( ) [ - ]	-	422 ( ) [ - ]	-	358 ( ) [ - ]	-	273 ( 2 ) [ - ]	-	266 ( 1 ) [ - ]	-	272 ( 1 ) [ 9 ]	-		
合格者数	282 ( ) [ - ]	-	355 ( ) [ - ]	-	303 ( ) [ - ]	-	239 ( 2 ) [ - ]	-	235 ( 1 ) [ - ]	-	247 ( 1 ) [ 7 ]	-		
B 入学者数	125 ( ) [ - ]	-	101 ( ) [ - ]	-	102 ( ) [ - ]	-	84 ( 1 ) [ - ]	-	86 ( 0 ) [ - ]	-	99 ( 1 ) [ 7 ]	-		
入学定員超過率 B/A	1.04		0.84		0.85		0.70		0.71		0.82			

- (注) ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	[ - ] 125	[ - ] -	[ - ] 101	[ - ] -	[ - ] 98	[ - ] -	[ - ] 81	[ - ] -	[ - ] 89	[ - ] -	[ 7 ] 100	[ - ] -	
2年次			[ - ] 122	[ - ] -	[ - ] 100	[ - ] -	[ - ] 102	[ - ] -	[ - ] 78	[ - ] -	[ - ] 94	[ - ] -	
3年次					[ - ] 119	[ - ] -	[ - ] 95	[ - ] -	[ - ] 98	[ - ] -	[ - ] 74	[ - ] -	
4年次							[ - ] 114	[ - ] -	[ - ] 99	[ - ] -	[ - ] 104	[ - ] -	
5年次									[ - ] 109	[ - ] -	[ - ] 94	[ - ] -	
6年次											[ - ] 107	[ - ] -	
計	[ - ] 125	[ - ]	[ - ] 223	[ - ]	[ - ] 317	[ - ]	[ - ] 392	[ - ]	[ - ] 473	[ - ]	[ 7 ] 573	[ - ]	

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成18年度 (平成18年4月1日～ 平成19年3月31日)	計 [ - ] 0人	(累積)計 [ - ] 125人	0.0%
	うち平成18年度入学者 0人	うち平成18年度 125人	
	(主な退学理由) 該当なし		
平成19年度 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)	計 [ - ] 3人	(累積)計 [ - ] 226人	1.3%
	うち平成18年度入学者 2人	うち平成18年度 125人	
	うち平成19年度入学者 1人	うち平成19年度 101人	
	(主な退学理由) 進路変更1人、体調不良1人、除籍(長期無断欠席)1人		
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ - ] 8人	(累積)計 [ - ] 325人	2.5%
	うち平成18年度入学者 1人	うち平成18年度 123人	
	うち平成19年度入学者 3人	うち平成19年度 100人	
	うち平成20年度入学者 4人	うち平成20年度 102人	
	(主な退学理由) 進路変更6人、体調不良1人、除籍(経済的)1人		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ - ] 10人	(累積)計 [ - ] 402人	2.5%
	うち平成18年度入学者 0人	うち平成18年度 122人	
	うち平成19年度入学者 4人	うち平成19年度 97人	
	うち平成20年度入学者 3人	うち平成20年度 98人	
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 85人	
	(主な退学理由) 進路変更8人、体調不良1人、経済的理由1人		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ - ] 5人	(累積)計 [ - ] 478人	1.0%
	うち平成18年度入学者 0人	うち平成18年度 122人	
	うち平成19年度入学者 2人	うち平成19年度 93人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 95人	
	うち平成21年度入学者 2人	うち平成21年度 82人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 86人	
(主な退学理由) 進路変更3人、転学部2人			
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成23年5月1日)	計 [ - ] 0人	(累積)計 [ 7 ] 573人	0.0%
	うち平成18年度入学者 0人	うち平成18年度 122人	
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 91人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 94人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 80人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 86人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 100人	
(主な退学理由) 該当なし			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度の前年度までの確定した入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・ 就学意欲の低下 ・ 学力不足 ・ 他の教育機関への入学・転学 ・ 海外留学  
 ・ 就職 ・ 学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 除籍 ・ その他



## 2 授業科目の概要

<薬学部 薬学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通科目 (一般科目)	導入													担当者死亡により削除 (23) 担当 荒川正幸 (教授) 担当者退職により削除 (23) 担当 北市清幸 (准教授) 担当者退職により削除 (23) 担当 安河内孝徳 (准教授) 教員の追加 (21) 担当 頼原嗣尚 (教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加 (21) 担当 長岡寛明 (教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 准教授から教授への昇格 (21) 担当 丸茂義輝 (教授) 平成17年9月 教授として本科目の教員審査済 判定 可 就任辞退による⑳ 担当 渡邊武 (教授) 教員の追加⑳ 担当 岸原健二 (教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 他学科から専任教員として異動⑳ 担当 佐藤博 (准教授) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加⑳ 担当 田中宏光 (准教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 就任辞退による⑲ 担当 原口せまゆみ (講師) 教員の追加⑲ 担当 藤原俊幸 (准教授) 平成19年8月 変更書提出予定⑲ 平成19年9月 教員審査済⑳ 判定 可 助手から昇格による担当者の追加⑳ 担当 隈博幸 (講師) 平成19年9月 教員審査済 判定 可
	教養セミナー A	1前	1				19 20	7 9		5				担当者死亡により削除 (23) 担当 荒川正幸 (教授) 担当者退職により削除 (23) 担当 北市清幸 (准教授) 担当者退職により削除 (23) 担当 安河内孝徳 (准教授) 教員の追加 (21) 担当 頼原嗣尚 (教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加 (21) 担当 長岡寛明 (教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 准教授から教授への昇格 (21) 担当 丸茂義輝 (教授) 平成17年9月 教授として本科目の教員審査済 判定 可 就任辞退による⑳ 担当 渡邊武 (教授)

全学共通科目（一般科目）	導入									教員の追加㉔ 担当 岸原健二（教授） 平成19年9月 教員審査済 判定 可 他学科から専任教員として異動㉔ 担当 佐藤博（准教授） 平成20年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加㉔ 担当 田中宏光（准教授） 平成19年9月 教員審査済 判定 可 就任辞退による㉔ 担当 原口せまゆみ（講師） 教員の追加㉔ 担当 藤原俊幸（准教授） 平成19年8月 変更書提出予定㉔ 平成19年9月 教員審査済㉔ 判定 可 助手から昇格による担当者の追加㉔ 担当 隈博幸（講師） 平成19年9月 教員審査済 判定 可 教育効果を考慮し、学期完結型に科目分割し区分変更㉔
	教養セミナーB	1後	1			19 20	7 9	5		
	教養セミナー	1	2			17	7	5		
人間理解	哲学	1前 未開講 1		2						今年度開講（22） 隔年開講科目であり今年度開講せず（21） 担当者の追加（21） 担当 木村勝彦（兼任） 担当者の定年退職（21） 担当 関家新助（兼任）
	倫理学	未開講 2 未開講 2		2						隔年開講科目であり今年度開講せず（23） 今年度開講㉔ 隔年開講科目であり今年度開講せず㉔
	生命倫理	1後 2	2			2				教員の追加（23） 担当 小林秀光（教授） 平成23年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加（23） 担当 和田守正（教授） 平成23年1月 教員審査済 判定 可 担当者の追加㉔ 担当 濱崎直孝（兼任） 教育効果を考慮し配当年次を変更㉔
	宗教学	2後 未開講 2		2						今年度開講（23） 隔年開講科目であり今年度開講せず（22）
	心理学	1前		2						担当者の追加（22） 担当 古賀義（兼任） 兼任教員担当のため削除（22） 担当 城下未来（兼任） 担当者の追加（21） 担当 黒山竜太（兼任） 担当者の追加㉔ 担当 城下未来（兼任）
	教育学	1前		2						担当者の退職（21） 担当 山岸利次（兼任） 担当者の追加（21） 担当 乙須翼（兼任）
	歴史学	1		2						全学的な見直しにより削除（23）
	文化人類学	1		2						全学的な見直しにより削除（23）
	世界文化遺産論	2		2						国際理解区分へ移行㉔
	芸術論	1後		2						
	文学論	1後		2						教育課程の充実を図るため科目を追加㉔ 担当 中野はるみ（兼任）
	茶道文化 I A	1前		1						担当者の追加（22） 担当 仲野優（兼任） 担当者の追加（22）
	茶道文化 I B	1後		1						担当 仲野優（兼任）
	茶道文化 I	1		2						教育効果を考慮し、学期完結型に科目分割㉔

全学共通科目（一般科目）	人間理解	茶道文化ⅡA	2前	1						担当者の追加(22) 担当 龍美穂子(兼任) 担当者の追加(22) 担当 仲野優(兼任) 担当者の追加(22) 担当 龍美穂子(兼任) 担当者の追加(22) 担当 仲野優(兼任)
		茶道文化ⅡB	2後	1						教育効果を考慮し、学期完結型に科目分割 <sup>⑨</sup>
		茶道文化Ⅱ	2	2						
		茶道文化ⅢA	3前	1						担当者の追加(22) 担当 龍美穂子(兼任)
		茶道文化ⅢB	3後	1						担当者の追加(22) 担当 龍美穂子(兼任)
		茶道文化Ⅲ	3	2						教育効果を考慮し、学期完結型に科目分割 <sup>⑨</sup>
		茶道文化ⅣA	4前	1						担当者の追加(22) 担当 龍美穂子(兼任)
		茶道文化ⅣB	4後	1						担当者の追加(22) 担当 龍美穂子(兼任)
		茶道文化Ⅳ	4	2						教育効果を考慮し、学期完結型に科目分割 <sup>⑨</sup>
		食文化論	未開講 1	2						全学的な見直しにより削除 <sup>⑨</sup> 隔年開講科目であり今年度は開講せず <sup>⑩</sup>
		ホスピタリティ概論	1前	1	2					教育効果を考慮した必修科目への変更及び単位数の変更。(23) <b>担当 木村勝彦(兼任)</b> 担当者の退職(21) 担当 相澤哲(兼任) <small>担当者の担当科目辞退(21)</small> 担当 木村勝彦(兼任) 担当者の追加(21) 担当 潮谷義子(兼任) 担当者の追加(21) 担当 安徳勝憲(兼任) 担当者の追加 <sup>⑨</sup> 担当 安部直樹(兼任) 担当者の追加 <sup>⑨</sup> 担当 木村勝彦(兼任) 担当者の追加 <sup>⑨</sup> 担当 相澤哲(兼任)
		余暇論	2	2						全学的な見直しにより削除(23) 担当者の退職(21) 担当 下島康史(兼任) 担当者の変更(21) 担当 小島大輔(兼任) 教育効果を考慮し、配当年次を変更 <sup>⑨</sup> 教育効果を考慮し、配当年次を変更 <sup>⑩</sup>
		健康科学	3 1→2	2						自然理解区分へ移行 <sup>⑨</sup> 教育効果を考慮し配当年次を変更 <sup>⑩</sup>
		スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1						担当者の追加(23) <b>担当 金相勲(兼任)</b> 担当者の追加(23) <b>担当 田井健太郎(兼任)</b> 担当者の退職により削除(23) <b>担当 箕輪憲吾(兼任)</b> 担当者の追加(21) 担当 宮良俊行(兼任) 担当者の退職(21) 担当 伊藤リナ(兼任) 担当者の追加 <sup>⑨</sup> 担当 箕輪憲吾(兼任) 担当者の追加 <sup>⑨</sup> 担当 伊藤リナ(兼任)

全学共通科目（一般科目）	人間理解									担当者の追加 (23) 担当 金相融 (兼任) 担当者の追加 (23) 担当 田井健太郎 (兼任) 担当者の退職により削除 (23) 担当 箕輪憲吾 (兼任) 担当者の追加 (21) 担当 宮良俊行 (兼任) 担当者の退職 (21) 担当 伊藤リナ (兼任) 担当者の追加 <sup>⑩</sup> 担当 箕輪憲吾 (兼任) 担当者の追加 <sup>⑩</sup> 担当 伊藤リナ (兼任)
	スポーツ実習Ⅱ	1前・後	1							
	基礎の化学	1	2							
	基礎の生物学	1	2							
	基礎の物理学	1	2							自然理解区分へ移行 <sup>⑩</sup>
国際理解										担当者の追加 (23) 担当 Rife Stephen Edward (兼任) 担当者の追加 (23) 担当 大塚珠奈 (兼任) 担当者の辞退により削除 (23) 担当 岡侑子 (兼任) 担当者の退職により削除 (23) 担当 末松信子 (兼任) 担当者の追加 (22) 担当 岡侑子 (兼任) 平成23年4月より国際観光学科専任教員として就任のため、兼任へ変更 (23) 担当者の追加 (22) 担当 安部雅隆 (兼任) (兼任) 担当者の辞任 (22) 担当 西俣貴幸 (兼任) 担当者の辞退 (22) 担当 林田京子 (兼任) 担当者の追加 (21) 担当 西俣貴幸 (兼任) 担当者の追加 (21) 担当 Brendan Van Deusen (兼任) 担当者の定年退職 <sup>⑩</sup> 担当 石上晋保 (兼任) 担当者の追加 <sup>⑩</sup> 担当 林田京子 (兼任) 担当者の変更により削除 <sup>⑩</sup> 担当 田中誠 (兼任) 担当者の追加 <sup>⑩</sup> 担当 平井美津子 (兼任)
	英語演習ⅠA	1前	1							
										担当者の追加 (23) 担当 Rife Stephen Edward (兼任) 担当者の追加 (23) 担当 大塚珠奈 (兼任) 担当者の追加 (23) 担当 安部雅隆 (兼任) 担当者の退職により削除 (23) 担当 末松信子 (兼任) 担当者の辞退 (22) 担当 林田京子 (兼任) 担当者の追加 (21) 担当 Brendan Van Deusen (兼任) 担当者の定年退職 <sup>⑩</sup> 担当 石上晋保 (兼任) 担当者の追加 <sup>⑩</sup> 担当 林田京子 (兼任) 担当者の変更により削除 <sup>⑩</sup> 担当 田中誠 (兼任) 担当者の追加 <sup>⑩</sup> 担当 平井美津子 (兼任)
英語演習ⅠB	1前	1								
										教育効果を考慮し、学期完結型に科目分割 <sup>⑩</sup>
	英語演習Ⅰ	1	2							

全学共通科目（一般科目）

国際理解

英語演習ⅡA	1後	1							<p>担当者の追加 (23)          担当 Rife Stephen Edward (兼任)          担当者の追加 (23)          担当 大塚珠奈 (兼任)          担当者辞退により削除 (23)          担当 岡侑子 (兼任)          担当者退職により削除 (23)          担当 末松信子 (兼任)          担当者の追加 (22)          担当 岡侑子 (兼任)          平成23年4月より国際観光学科専任教員として就任のため、兼任へ変更 (23)          担当者の追加 (22)          担当 安部雅隆 (兼任) (兼任)          担当者辞退 (22)          担当 林田京子 (兼任)          担当者の追加 (21)          担当 Brendan Van Deusen (兼任)          担当者の定年退職<sup>㉔</sup>          担当 石上晋保 (兼任)          担当者の変更により削除<sup>㉓</sup>          担当 田中誠 (兼任)          担当者の追加<sup>㉔</sup>          担当 林田京子 (兼任)          担当者の追加<sup>㉓</sup>          担当 平井美津子 (兼任)</p>
英語演習ⅡB	1後	1							<p>担当者の追加 (23)          担当 Rife Stephen Edward (兼任)          担当者の追加 (23)          担当 大塚珠奈 (兼任)          担当者の追加 (23)          担当 安部雅隆 (兼任)          担当者退職により削除 (23)          担当 末松信子 (兼任)          担当者辞退 (22)          担当 林田京子 (兼任)          担当者の追加 (21)          担当 Brendan Van Deusen (兼任)          担当者の定年退職<sup>㉔</sup>          担当 石上晋保 (兼任)          担当者の追加<sup>㉔</sup>          担当 林田京子 (兼任)          担当者の変更により削除<sup>㉓</sup>          担当 田中誠 (兼任)          担当者の追加<sup>㉓</sup>          担当 平井美津子 (兼任)</p>
英語演習Ⅱ	1	2							<p>教育効果を考慮し、学期完結型に科目分割<sup>㉓</sup></p>
									<p>担当者の追加 (23)          担当 大塚珠奈 (兼任)          担当者辞退により削除 (23)          担当 岡侑子 (兼任)          担当者退職により削除 (23)          担当 末松信子 (兼任)          担当者の追加 (22)          担当 田原陽一 (兼任)          担当者の追加 (22)          担当 岡侑子 (兼任)          担当者辞退 (22)          担当 林田京子 (兼任)          教育効果を配慮し配当年次を変更 (22)          担当者の非常勤講師辞退による (21)          担当 牟田美信 (兼任)          担当者の非常勤講師辞退による (21)          担当 田原陽一 (兼任)          担当者の追加 (21)          担当 林田京子 (兼任)          担当者の定年退職による<sup>㉔</sup>          担当 石上晋保 (兼任)          担当者の追加<sup>㉔</sup>          担当 牟田美信 (兼任)</p>





全学共通科目（一般科目）	国際理解	異文化コミュニケーション論	2前 3 2	2						教育効果を考慮し、配当年次を変更 <sup>⑱</sup> 教育効果を考慮し、配当年次を変更 <sup>⑱</sup>
		比較文化論	1後	2						担当者の追加(21) 担当 滝知則(兼任) 担当者の辞退(21) 担当 孫勝強(兼任) 担当者の定年退職 <sup>⑳</sup> 担当 石上晋保(兼任) 担当者の追加 <sup>⑱</sup> 担当 孫勝強(兼任)
		オランダ研究	3	2						全学的な見直しにより削除 <sup>⑱</sup>
		世界文化遺産論	2後	2						人間理解区分から移行 <sup>⑱</sup>
		国際観光論	1	2						他学科専門科目へ移行のため削除 <sup>⑱</sup> (履修可)
		国際福祉論	1	2						
		国際栄養論	1	2						
	国際薬事論	1	2							
	日本語 I	1前	2						専門科目へ移行 <sup>⑱</sup> 担当者の追加(23) 担当 福江正人(兼任) 担当科目辞退(22) 担当 章潔(兼任) 担当者の追加(21) 担当 章潔(兼任) 担当者の辞退(22) 担当 秋山理枝(兼任) 担当者の追加(21) 担当 秋山理枝(兼任)	
	日本語 II	1後 2	2						担当者の追加(23) 担当 福江正人(兼任) 担当科目辞退(22) 担当 章潔(兼任) 担当者の追加(21) 担当 章潔(兼任) 担当者の辞退(22) 担当 秋山理枝(兼任) 担当者の追加(21) 担当 秋山理枝(兼任) 教育効果を考慮し、配当年次を変更 <sup>⑱</sup>	
	日本事情 I	1後	2						担当者の変更(23) 担当 乙須翼(兼任) 別の兼任教員担当のため削除(23) 担当 海老澤昭郎(兼任) 別の兼任教員担当のため削除 <sup>⑱</sup> 担当 中野はるみ(兼任) 担当者の追加 <sup>⑱</sup> 担当 海老澤昭郎(兼任)	
	日本事情 II	2前	2						担当者の変更(23) 担当 乙須翼(兼任) 別の兼任教員担当のため削除(23) 担当 海老澤昭郎(兼任) 別の兼任教員担当のため削除 <sup>⑱</sup> 担当 中野はるみ(兼任) 担当者の追加 <sup>⑱</sup> 担当 海老澤昭郎(兼任)	
	社会理解	社会学	1前・後	2 4						担当者の退職(21) 担当 相澤哲(兼任) 担当者の追加(21) 担当 益田仁(兼任) 教育効果を考慮し単位数を変更 <sup>⑱</sup>
		社会調査法	不開講 未開講 2	2						全学的な見直しにより削除(23) 不開講(22)
生涯学習論		2後	2						隔年開講科目であり今年度は開講せず(21) 担当者の追加(22) 担当 立平進(兼任) 兼任教員担当のため削除(22) 担当 新田照夫(兼任)	

全学共通科目（一般科目）	社会理解									全学的な見直しにより削除 (23) 担当者の追加㉔ 担当 浅田智子 (兼任) 担当者の追加㉔ 担当 立平進 (兼任) 担当者の追加㉔ 担当 尾場均 (兼任) 教育効果を考慮し配当年次を変更⑩	
		視聴覚教育メディア論	2 3		2						担当者の変更 (23) 担当 脇野幸太郎 (兼任) 担当者の辞退により削除 (23) 担当 岩下栄一 (兼任) 担当者の追加 (22) 担当 岩下栄一 (兼任) 担当者の非常勤講師辞任 (22) 担当 實原隆志 (兼任) 担当者の追加 (21) 担当 實原隆志 (兼任) 担当者の退職による (21) 担当 實原隆志 (兼任)
		法学	1後		2						
		政治学	1後		2						
		基礎の数学	1		2						自然理解区分へ移行⑩
		統計学	1後	2	2						担当者の追加 (22) 担当 早川正信 (兼任) 担当者の非常勤講師辞任 (22) 担当 竹垣草世香 (兼任) 担当者の追加⑩ 担当 竹垣草世香 (兼任) 教育効果を考慮し、必修科目へ変更⑩
		経済学	1前		2						担当者の変更⑩ 担当 城前奈美 (兼任)
		流通論	2		2						全学的な見直しにより削除⑩
		経営学	2前		2						平成23年4月より国際観光学科専任教員として就任のため、兼任へ変更 (23) 担当者の追加 (22) 担当 安部雅隆 (兼任) (兼任) 担当者の非常勤講師辞任 (22) 担当 新川本 (兼任) 担当者の変更⑩ 担当 新川本 (兼任)
		学際連携研究	1前	2							教育課程充実のため科目を新設 (23) 科目新設による追加 (23) 担当 李昌訓 (兼任) 科目新設による追加 (23) 担当 榊原隆三 (兼任) 科目新設による追加 (23) 担当 豊島律 (兼任) 科目新設による追加 (23) 担当 小玉智章 (兼任) 科目新設による追加 (23) 担当 姫野勝 (兼任) 科目新設による追加 (23) 担当 山本経之 (兼任) 科目新設による追加 (23) 担当 永石和夫 (兼任)
		地域の理解と連携	1前		2						教育課程充実のため科目を新設 (23) 科目新設による追加 (23) 担当 宮良俊行 (兼任) 科目新設による追加 (23) 担当 山本主税 (兼任) 科目新設による追加 (23) 担当 林俊介 (兼任) 科目新設による追加 (23) 担当 山本経之 (兼任) 科目新設による追加 (23) 担当 永石和夫 (兼任)
		在宅医療概論	1後		2						教育課程充実のため科目を新設 (23) 科目新設による追加 (23) 担当 榊原隆三 (兼任)
		事務管理論	3		2						国際観光学科専門科目へ移行による削除 (履修可) ⑩
		労務管理論	2		2						

全学共通科目（一般科目）	社会理解	地理学	1	2					国際観光学科専門科目へ移行による削除（履修可）（23）
		地球環境論	1	2					自然理解区分へ移行⑩
		各国経済事情	3	2					全学的な見直しにより削除⑩
		観光入門	1	2					全学的な見直しにより削除（23） 担当の変更⑩ 担当 李昌訓（兼任）
		社会福祉入門	1	2					全学的な見直しにより削除（23） 担当の担当科目辞退（21） 担当 西村貴直（兼任） 担当の追加（21） 担当 高橋信幸（兼任）
		健康栄養入門	1	2					自然理解区分へ移行⑩
		薬学入門	1	2					
		日本国憲法	2前	2					担当の変更（23） 担当 脇野幸太郎（兼任） 担当者辞退により削除（23） 担当 岩下栄一（兼任） 担当の追加（22） 担当 岩下栄一（兼任） 担当の非常勤講師辞任（22） 担当 實原隆志（兼任） 担当の追加（21） 担当 實原隆志（兼任） 担当者退職による（21） 担当 實原隆志（兼任） 教育課程の充実を図るため科目を追加⑩
		異文化適応演習Ⅰ	1前	1					担当の追加（22） 担当 木村勝彦（兼任） 担当の追加（22） 担当 章潔（兼任） 担当の辞任（22） 担当 西俣貴幸（兼任） 留学生教育の充実を図るため科目を追加（21） 担当 西俣貴幸（兼任）
		異文化適応演習Ⅱ	1後	1					担当の追加（22） 担当 木村勝彦（兼任） 担当の追加（22） 担当 章潔（兼任） 担当の辞任（22） 担当 西俣貴幸（兼任） 留学生教育の充実を図るため科目を追加（21） 担当 西俣貴幸（兼任）
	自然理解	科学史	1	2					全学的な見直しにより削除（23） 担当の追加⑩ 担当 荒川正幸（兼任） 担当の追加⑩ 担当 丸茂義輝（兼任） 教育課程の充実を図るため科目を追加⑩
		健康科学	2前	2					人間理解区分から移行し、教育効果を考慮し、配当年次を変更⑩
									教員の追加（23） 担当 田中啓太郎（講師） 平成23年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加（22） 担当 萩森政頼（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加（22） 担当 宇都拓洋（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可 担当の担当科目辞退（21） 担当 長岡寛明（兼任） 担当の追加（21） 担当 小玉智章（兼任）

全学共通科目（一般科目）

自然理解

基礎の化学	1前		2		1		1	3 +	<p>助手から昇格による担当者の追加⑳</p> <p>担当 山本緑（助教） 平成20年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>担当者の追加㉑</p> <p>担当 佐藤博（兼任）</p> <p>担当者の追加㉒</p> <p>担当 田中啓太郎（兼任）</p> <p>人間理解区分から移行⑲</p>
基礎の生物学	1前		2		2	1		5 2	<p>教員の追加(22)</p> <p>担当 藤本（旧姓 藤田）京子（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>教員の追加(22)</p> <p>担当 縄田陽子（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>教員の追加(22)</p> <p>担当 小野原侑子（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>教員の追加㉓</p> <p>担当 田中宏光（准教授） 平成19年9月 教員審査済 判定 可</p> <p>助手から昇格による担当者の追加⑳</p> <p>担当 小山田浩子（助教） 平成20年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>助手から昇格による担当者の追加⑳</p> <p>担当 野嶽勇一（助教） 平成20年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>人間理解区分から移行⑲</p>
基礎の物理学	1前		2		1			2 +	<p>教員の追加(22)</p> <p>担当 中原広道（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>助手から昇格による担当者の追加⑳</p> <p>担当 神谷誠太郎（助教） 平成20年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>人間理解区分から移行⑲</p>
基礎の数学	1前		2		1				社会理解区分から移行⑲
健康栄養入門	+		2						健康栄養学科専門科目へ移行による削除（履修可）（23）
薬学入門	1前	2			1				<p>担当者の変更㉑</p> <p>担当 山本孝史（兼任）</p> <p>社会理解区分から移行⑲</p> <p>社会理解区分から移行⑲</p>
地球環境論	1前・後		2		1				<p>担当者の定年退職（21）</p> <p>担当 和田光史（兼任）</p> <p>担当者の退職（21）</p> <p>担当 佐藤大祐（兼任）</p> <p>担当者の追加（21）</p> <p>担当 小島大輔（兼任）</p> <p>担当者の追加（21）</p> <p>担当 佐藤博（兼任）</p> <p>担当者の追加（21）</p> <p>担当 出口雄也（兼任）</p> <p>担当者の追加㉑</p> <p>担当 佐藤大祐（兼任）</p> <p>社会理解区分から移行⑲</p>
コンピュータ基礎演習ⅠA	1前	1			1				教育効果を考慮し、学期完結型に科目分割⑲
コンピュータ基礎演習ⅠB	1後	1			1				
コンピュータ基礎演習Ⅰ	1	2			+				
コンピュータ基礎演習ⅡA	2前		1		1				教育効果を考慮し、学期完結型に科目分割⑲
コンピュータ基礎演習ⅡB	2後		1		1				
コンピュータ基礎演習Ⅱ	2		2		+				

学科専門科目群（専門科目）

物理系薬学

分析化学Ⅰ	1後	2		1	1	1		<p>教員の追加（23）            担当 中村沙織（助教）            平成22年7月 教員審査済            判定 可</p> <p>助手の助教昇任のための担当追加（22）            担当 中村沙織（助教）            平成22年7月 提出予定</p> <p>担当者の追加②            担当 高井伸彦（准教授）            平成20年1月 教員審査済            判定 可</p>
分析化学Ⅱ	2前 +	2		1	1	1		<p>教員の追加（23）            担当 中村沙織（助教）            平成22年7月 教員審査済            判定 可</p> <p>助手の助教昇任のための担当追加（22）            担当 中村沙織（助教）            平成22年7月 提出予定</p> <p>教育効果を配慮し配当年次を変更（22）            担当者の追加②            担当 高井伸彦（准教授）            平成20年1月 教員審査済            判定 可</p>
機器分析学	3後	2		1	1	1		<p>教員の追加（23）            担当 中村沙織（助教）            平成22年7月 教員審査済            判定 可</p> <p>助手の助教昇任のための担当追加（22）            担当 中村沙織（助教）            平成22年7月 提出予定</p> <p>担当者の追加②            担当 高井伸彦（准教授）            平成20年1月 教員審査済            判定 可</p>
分析化学実習	2前	1		1	1	1	3	<p>教員の追加（23）            担当 中村沙織（助教）            平成22年7月 教員審査済            判定 可</p> <p>担当者の追加②            担当 高井伸彦（准教授）            平成19年9月 教員審査済            判定 可</p>
日本薬局方概論	4後	2		1	1	1		<p>教員の追加（23）            担当 中村沙織（助教）            平成22年7月 教員審査済            判定 可</p> <p>助手の助教昇任のための担当追加（22）            担当 中村沙織（助教）            平成22年7月 提出予定</p> <p>担当者の追加②            担当 高井伸彦（准教授）            平成20年1月 教員審査済            判定 可</p>
薬品物理化学Ⅰ	2前	2		1		1		<p>教員の追加（23）            担当 中原広道（助教）            平成23年1月 教員審査済            判定 可</p>
薬品物理化学Ⅱ	2後	2		1		1		<p>教員の追加（23）            担当 中原広道（助教）            平成23年1月 教員審査済            判定 可</p>
物理化学実習	2後	1		1		1	1 2	<p>教員の追加（22）            担当 中原広道（助教）            平成22年1月 教員審査済            判定 可</p>
生物物理化学	3前	2		1 2		1		<p>担当者死亡により削除（23）            担当 荒川正幸（教授）</p> <p>教員の追加（22）            担当 中原広道（助教）            平成22年1月 教員審査済            判定 可</p>

学科専門科目群(専門科目)	物理系薬学																			専任教員担当のための削除(23) 担当 飯島美夏(兼任) 教員の追加(22) 担当 中原広道(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し <sup>⑱</sup>	
		界面化学	6前 4		2			1													
		放射線化学	2後	2				1	1												
		放射線化学実習	3前	1				1	1												1
		放射線生物学	4前			2			1	1											
	化学系薬学																				教員の追加(23) 担当 山口拓 平成23年7月 提出予定 担当者死亡により削除(23) 担当 荒川正幸(教授) 担当者退職により削除(23) 担当 北市清幸(准教授) 教員の追加(22) 担当 中原広道(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(22) 担当 宇都拓洋(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(22) 担当 小野原侑子(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(22) 担当 縄田陽子(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(22) 担当 萩森政頼(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(22) 担当 藤本(旧姓 藤田)京子(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(21) 担当 藤木司(助教) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(21) 担当 出口雄也(助教) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 他学科から専任教員として異動 <sup>㉔</sup> 担当 佐藤博(准教授) 平成17年9月 教員審査済 判定 可 担当者の追加 <sup>㉔</sup> 担当 高井伸彦(准教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 教員の追加 <sup>㉔</sup> 担当 田中宏光(准教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 就任辞退による <sup>⑱</sup> 担当 原口セキまゆみ(講師) 教員の追加 <sup>⑱</sup> 担当 藤原俊幸(准教授) 平成19年8月 変更書提出予定 <sup>⑱</sup> 平成19年9月 教員審査済 <sup>㉔</sup> 判定 可 助手から昇格による担当者の追加 <sup>㉔</sup> 担当 隈博幸(講師) 平成19年9月 教員審査済 判定 可

学科専門科目群(専門科目)	化学系薬学									助手から昇格による担当者の追加⑩ 担当 小山田浩子(助教) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加⑩ 担当 神谷誠太郎(助教) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加⑩ 担当 野嶽勇一(助教) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加⑩ 担当 山本緑(助教) 平成20年1月 教員審査済 判定 可
	基本科学実習	1前	1		4 5	5 3 2	3 2 3	12 6 4	1	
	薬化学総論	1前	2		1		1	1		教員の追加(23) 担当 田中啓太郎(講師) 平成23年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(22) 担当 萩森政頼(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可
	有機薬化学Ⅰ	1後	2		1		1	1		教員の追加(23) 担当 萩森政頼(助教) 平成23年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(23) 担当 田中啓太郎(講師) 平成23年1月 教員審査済 判定 可
	有機薬化学Ⅱ	2前		2	1		1	1		教員の追加(23) 担当 萩森政頼(助教) 平成23年1月 教員審査済 判定 可
	有機薬化学演習	1後		1	2		1	1		教員の追加(23) 担当 萩森政頼(助教) 平成23年1月 教員審査済 判定 可 担当者の追加⑩ 担当 原田平輝志(教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可
	有機薬化学実習	1後	1		2		1	1	1	教員の追加(22) 担当 萩森政頼(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 担当者の追加⑩ 担当 原田平輝志(教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可
	生物有機化学 生薬学	2後 2前		2	2 1		1 1	1	1	教員の追加(23) 担当 萩森政頼(助教) 平成23年1月 教員審査済 判定 可 担当者の追加⑩ 担当 原田平輝志(教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可
	生薬学実習	2前	1		1		1	1		教員の追加(22) 担当 宇都拓洋(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可
	天然物化学	2後		2	1		1	1		教員の追加(22) 担当 宇都拓洋(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可

学科専門科目群(専門科目)	化学系薬学	薬品製造学 I	3前	2		2 +	1	1	教員の追加(23) 担当 萩森政頼(助教) 平成23年1月 教員審査済 判定 可 担当者の追加⑳ 担当 原田平輝志(教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可	
		薬品製造学 II	4後 3		2	2 +	1	1	教員の追加(23) 担当 萩森政頼(助教) 平成23年1月 教員審査済 判定 可 担当者の追加⑳ 担当 原田平輝志(教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑲	
		薬用植物学	1後		2	1	1	1	教員の追加(22) 担当 宇都拓洋(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可	
		香粧品学	3後 4		2		1		担当者の追加⑳ 他学科から専任教員として異動㉑ 担当 佐藤博(准教授) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑲	
	生物系薬学	機能形態学 I	1前	2		1	1	4	1	教員の追加(22) 担当 小野原侑子(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 就任辞退による⑲ 担当 原口せけまゆみ(講師) 教員の追加⑲ 担当 藤原俊幸(准教授) 平成19年8月 変更書提出予定⑲ 平成19年9月 教員審査済⑳ 判定 可
		機能形態学 II	2前		2	1	1	4		就任辞退による⑲ 担当 原口せけまゆみ(講師) 教員の追加⑲ 担当 藤原俊幸(准教授) 平成19年8月 変更書提出予定⑲ 平成19年9月 教員審査済⑳ 判定 可
		機能形態学実習	1後	1		1	1	4	1	教員の追加(22) 担当 小野原侑子(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 就任辞退による⑲ 担当 原口せけまゆみ(講師) 教員の追加⑲ 担当 藤原俊幸(准教授) 平成19年8月 変更書提出予定⑲ 平成19年9月 教員審査済⑳ 判定 可
		生化学 I	1後 2	2		1	3		2	教員の追加(23) 担当 田中宏光(准教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可 担当者退職により削除(23) 担当者 安河内孝徳(准教授) 助手から昇格による担当者の追加㉑ 担当 野嶽勇一(助教) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加㉑ 担当 山本緑(助教) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 教育効果を考慮し配当年次を見直し⑲

学科専門科目群（専門科目） 生物系薬学	生化学Ⅱ	2前	2		1	2			教員の追加（23） 担当 田中宏光（准教授） 平成23年1月 教員審査済 判定 可 担当者退職により削除（23） 担当者 安河内孝徳（准教授）
	生化学Ⅲ	3前		2	1	2			教員の追加（23） 担当 田中宏光（准教授） 平成23年1月 教員審査済 判定 可 担当者退職により削除（23） 担当者 安河内孝徳（准教授）
	生化学実習	2後	1		1	2		4 3 2	教員の追加（23） 担当 藤原俊幸（准教授） 平成23年1月 教員審査済 判定 可 担当者退職により削除（23） 担当者 安河内孝徳（准教授） 教員の追加（22） 担当 藤本（旧姓 藤田）京子（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加（21） 担当 藤木司（助教） 平成21年1月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加㊟ 担当 野嶽勇一（助教） 平成20年1月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加㊟ 担当 山本緑（助教） 平成20年1月 教員審査済 判定 可
	細胞生物学Ⅰ	2前	2		1		2 3 1		担当者退職により削除（23） 担当者 安河内孝徳（准教授） 教員の追加㊟ 担当 田中宏光（准教授） 平成19年9月 教員審査済 判定 可 担当者の追加㊟ 担当 藤原俊幸（准教授） 平成19年9月 教員審査済 判定 可
	細胞生物学Ⅱ	2後		2	1		2 3 1		担当者退職により削除（23） 担当者 安河内孝徳（准教授） 教員の追加㊟ 担当 田中宏光（准教授） 平成19年9月 教員審査済 判定 可 担当者の追加㊟ 担当 藤原俊幸（准教授） 平成19年9月 教員審査済 判定 可
	分子生物学	4後 3		2		3	2 3 2	2 1	担当者退職により削除（23） 担当者 安河内孝徳（准教授） 教員の追加（22） 担当 藤本（旧姓 藤田）京子（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加（21） 担当 藤木司（助教） 平成21年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加㊟ 担当 田中宏光（准教授） 平成19年9月 教員審査済 判定 可 薬学実務実習が5年次に確定したことに による配当年次の見直し㊟

学科専門科目群（専門科目） 生物系薬学	免疫学Ⅰ	2後	2		2	1 2		1	担当者退職により削除 (23) 担当者 安河内孝徳 (准教授) 教員の追加(21) 担当 藤木司 (助教) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 就任辞退による㊹ 担当 渡邊武 (教授) 教員の追加㊹ 担当 岸原健二 (教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可	
	免疫学Ⅱ	3後		2	2	1 2			担当者退職により削除 (23) 担当者 安河内孝徳 (准教授) 就任辞退による㊹ 担当 渡邊武 (教授) 教員の追加㊹ 担当 岸原健二 (教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可	
	ウイルス学	未開講 6 3		2	1	1			平成21年度入学生の教育課程より、配当年次を3年から6年に変更したため未開講 (23) 教育効果を考慮し、配当年次を見直し (21) 就任辞退による㊹ 担当 渡邊武 (教授) 教員の追加㊹ 担当 岸原健二 (教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可	
	免疫学実習	3後	1		2	2 3 2		4	1	担当者退職により削除 (23) 担当者 安河内孝徳 (准教授) 教員の追加(21) 担当 藤木司 (助教) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 就任辞退による㊹ 担当 渡邊武 (教授) 教員の追加㊹ 担当 岸原健二 (教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 就任辞退による㊹ 担当 原口せけまゆみ (講師) 教員の追加㊹ 担当 藤原俊幸 (准教授) 平成19年8月 変更書提出予定㊹ 平成19年9月 教員審査済㊹ 判定 可
	微生物学	2前	2		1	1			1	助手から昇格による担当者の追加㊹ 担当 小山田浩子 (助教) 平成20年1月 教員審査済 判定 可
	病原微生物学	2後		2	1	1			1	助手から昇格による担当者の追加㊹ 担当 小山田浩子 (助教) 平成20年1月 教員審査済 判定 可
	微生物学実習	3前	1		2	2 1			2 1	教員の追加(22) 担当 藤本 (旧姓 藤田) 京子 (助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加㊹ 担当 田中宏光 (准教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加㊹ 担当 小山田浩子 (助教) 平成20年1月 教員審査済 判定 可

学科専門科目群(専門科目)	生物系薬学									担当者退職により削除(23) 担当者 安河内孝徳(准教授) 教員の追加(22) 担当 藤本(旧姓 藤田)京子(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加⑳ 担当 田中宏光(准教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可	
	遺伝子工学	3前		2		1	1		1		
	健康と環境										教員の追加(21) 担当 長岡寛明(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(21) 担当 出口雄也(助教) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加㉑ 担当 山本緑(助教) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 担当者の追加㉒ 担当 長岡寛明(兼任)
		衛生化学 I	3前	2			2			2	
		衛生化学 II	3後		2		2			1	
		公衆衛生学 I	2後 3	2					1		他学科から専任教員として異動㉑ 担当 佐藤博(准教授) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 教育効果を考慮し、配当年次を見直し㉒
		公衆衛生学 II	4前		2				1		他学科から専任教員として異動㉑ 担当 佐藤博(准教授) 平成20年1月 教員審査済 判定 可
		衛生薬学実習	3前 4	1			2		1	2	准教授から教授への昇格(21) 担当 丸茂義輝(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(21) 担当 長岡寛明(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(21) 担当 出口雄也(助教) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 他学科から専任教員として異動㉑ 担当 佐藤博(准教授) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加㉑ 担当 山本緑(助教) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し㉒
	裁判化学	3前		2		1				准教授から教授への昇格(21) 担当 丸茂義輝(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可	





薬学と社会	介護概論	6前 4 6		2						教育効果を考慮し、配当年次を見直し(21) 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱
	看護学概論	6前 4 5		2						担当者変更による追加(23) 担当 北村妙子(兼任) 担当者変更による追加(23) 担当 新川哲子(兼任) 就任辞退による削除(23) 担当 宮崎信千代(兼任) 教育効果を考慮し、配当年次を見直し(21) 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱
	薬局経営学	3後 5		2		+				担当者変更による追加(21) 担当 川原利春(兼任) 健康上の理由により退職⑳ 担当 永田修一(教授) 非常勤講師の採用予定㉑ 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱
	薬事関係法規Ⅰ	4前 5	2				1			専任教員担当のため削除(22) 担当 相川康博(兼任) 専任教員担当のため削除(22) 担当 益田宣弘(兼任) 教員の追加(22) 担当 小笠原正良(准教授) 平成21年7月 教員審査済 判定 可 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱
	薬事関係法規Ⅱ	6前		2				1		専任教員担当のため削除(22) 担当 相川康博(兼任) 専任教員担当のため削除(22) 担当 益田宣弘(兼任) 教員の追加(22) 担当 小笠原正良(准教授) 平成21年7月 教員審査済 判定 可
	放射性薬品学	3後		2		1	1			
	微生物薬品学	3前		2		1	1			
	製剤学	4前		2		+			1	教員の追加(23) 担当 神谷誠太郎(助教) 平成23年1月 教員審査済 判定 可 担当者死亡により削除(23) 担当 荒川正幸(教授)
	ゲノム創薬学	6前 4	2				1	1		教員の追加⑳ 担当 田中宏光(准教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱
	創薬化学	6前 5	2				2 +		1	1
薬学と社会										

学科専門科目群(専門科目)

薬学と社会

医薬品をつくる

学科専門科目群（専門科目）	医薬品をつくる												教員の追加（23） 担当 廣田和仁（講師） 平成23年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加（23） 担当 仮屋園博子（教授） 平成23年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加（23） 担当 大磯茂（講師） 平成23年7月 提出予定 担当者死亡により削除（23） 担当 荒川正幸（教授） 専任教員担当のため削除（23） 担当 藤戸博（兼任）	
	治験コーディネイト論	6前		2		2			1				教育効果を考慮し、配当年次を見直し（21） 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱	
	宇宙と薬学	6前 4 5		2		1								
薬と疾病	薬理・薬剤学系												担当者退職により削除（23） 担当 北市清幸（准教授） 教員の追加（22） 担当 縄田陽子（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可 担当者の追加⑳ 担当 立石正登（教授） 平成20年1月 教員審査済 判定 可 教育効果を考慮し、配当年次を見直し⑱	
		薬理学Ⅰ（総論）	2後 3		2		2 +			+		1		
		薬理学Ⅱ（各論・中枢）	3前		2		2 +			+		1		担当者退職により削除（23） 担当 北市清幸（准教授） 教員の追加（22） 担当 縄田陽子（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可 担当者の追加⑳ 担当 立石正登（教授） 平成20年1月 教員審査済 判定 可
		薬理学Ⅲ（各論・末梢）	3後 4		2		2 +			+		1		教員の追加（23） 担当 山田勝士 平成23年7月 提出予定 担当者退職により削除（23） 担当 北市清幸（准教授） 教員の追加（22） 担当 縄田陽子（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可 担当者の追加⑳ 担当 立石正登（教授） 平成20年1月 教員審査済 判定 可 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱
		薬理学実習	3後		1		2 +			+		1	+	教員の追加（23） 担当 頼原嗣尚（教授） 平成22年9月 教員審査済 判定 可 教員の追加（23） 担当 山田勝士 平成23年7月 提出予定 教員の追加（23） 担当 山口拓 平成23年7月 提出予定 担当者退職により削除（23） 担当 北市清幸（准教授） 教員の追加（22） 担当 縄田陽子（助教） 平成22年1月 教員審査済 判定 可

学科専門科目群（専門科目）	薬と疾病 薬理・薬剤学系									<p>教員の追加(23)          担当 山田勝士          平成23年7月 提出予定          担当者退職により削除(23)          担当 北市清幸(准教授)</p> <p>教員の追加(22)          担当 縄田陽子(助教)          平成22年1月 教員審査済          判定 可</p> <p>教育効果を考慮し、配当年次を見直し(21)</p> <p>担当者の追加㊸          担当 立石正登(教授)          平成20年1月 教員審査済          判定 可</p>	
		臨床薬理学	6前 4	2	2 +	+		1			
		応用薬理学	4前 6 5	2	2 +	+			1		<p>教員の追加(23)          担当 額原嗣尚(教授)          平成22年9月 教員審査済          判定 可</p> <p>教員の追加(23)          担当 山田勝士          平成23年7月 提出予定</p> <p>教員の追加(23)          担当 山口拓          平成23年7月 提出予定</p> <p>担当者退職により削除(23)          担当 北市清幸(准教授)</p> <p>教員の追加(22)          担当 縄田陽子(助教)          平成22年1月 教員審査済          判定 可</p> <p>教育効果を考慮し、配当年次を見直し(21)</p> <p>薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑨</p>
		薬剤学 薬剤学Ⅰ	3前	2					1	1	<p>担当者死亡により削除(23)          担当 荒川正幸(教授)</p> <p>薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による科目名称の変更(21)</p> <p>担当者の追加(21)          担当 大磯茂(講師)          平成21年1月 教員審査済          判定 可</p> <p>教員の追加(21)          担当 仮屋蘭博子(教授)          平成21年1月 教員審査済          判定 可</p> <p>担当者の追加㊸          担当 立石正登(教授)          平成20年1月 教員審査済          判定 可</p> <p>助手から昇格による担当者の追加㊸          担当 神谷誠太郎(助教)          平成20年1月 教員審査済          判定 可</p>
		薬剤学Ⅱ	4 3	2	2 +				+		<p>薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による科目の移動と生物薬剤への名称変更(21)</p> <p>担当者の追加(21)          担当 大磯茂(講師)          平成21年1月 教員審査済          判定 可</p> <p>教員の追加(21)          担当 仮屋蘭博子(教授)          平成21年1月 教員審査済          判定 可</p> <p>薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑨</p>
薬剤学実習	4前	1		1 2				1	1	<p>担当者死亡により削除(23)          担当 荒川正幸(教授)</p> <p>助手から昇格による担当者の追加㊸          担当 神谷誠太郎(助教)          平成20年1月 教員審査済          判定 可</p>	

学科専門科目群（専門科目）	薬と疾病 薬理・薬剤学系									教員の追加(22) 担当 萩森政頼(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(21) 担当 仮屋園博子(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 教員の追加(21) 担当 大磯茂(講師) 平成21年1月 教員審査済 判定 可	
		薬物動態学	4前	2		2		1	1		
		治療学系									教員の追加(21) 担当 舘原嗣尚(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 就任辞退による㉔ 担当 渡邊武(教授) 教員の追加㉔ 担当 岸原健二(教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加㉔ 担当 隈博幸(講師) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 教育効果を考慮し、配当年次を見直し⑰
			臨床医学概論	2前 3		2		3 2		1	
		病理学	2後 3		2		3	1	1		就任辞退による㉔ 担当 渡邊武(教授) 教員の追加㉔ 担当 岸原健二(教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 教員の追加㉔ 担当 田中宏光(准教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加㉔ 担当 隈博幸(講師) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 教育効果を考慮し、配当年次を見直し⑰
		臨床生理学	3後 4		2		2 1		1		教員の追加(21) 担当 舘原嗣尚(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加㉔ 担当 隈博幸(講師) 平成20年1月 教員審査済 判定 可 担当者の追加㉔ 担当 舘原嗣尚(兼任) 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑰
臨床生理学実習	4前	1			3 2		1	1	担当者退職により削除(23) 担当 北市清幸(准教授) 教員の追加(21) 担当 舘原嗣尚(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 就任辞退による㉔ 担当 渡邊武(教授) 教員の追加㉔ 担当 岸原健二(教授) 平成19年9月 教員審査済 判定 可 助手から昇格による担当者の追加㉔ 担当 隈博幸(講師) 平成19年9月 教員審査済 判定 可		

学科専門科目群(専門科目)	薬と疾病 治療学系	薬物治療学 I	4前	2		1	+		1	<p>教員の追加(23) 担当 山口拓 平成23年7月 提出予定 担当者退職により削除(23) 担当 北市清幸(准教授)</p> <p>教員の追加(22) 担当 縄田陽子(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可</p>	
		薬物治療学 II	4後 5		2		1	+		1	<p>教員の追加(23) 担当 山口拓 平成23年7月 提出予定 担当者退職により削除(23) 担当 北市清幸(准教授)</p> <p>教員の追加(22) 担当 縄田陽子(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>教員の追加② 担当 北市清幸(准教授) 平成20年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱</p>
		医薬品安全性学	3前 4		2		1			1	<p>薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱</p>
		臨床薬物代謝学	3後 4		2		1			1	<p>教員の追加(22) 担当 萩森政頼(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱</p>
		疾病学 I	3前 4	2			2	+			<p>教員の追加(21) 担当 顕原嗣尚(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>教員の追加(21) 担当 濱崎直孝(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>就任辞退による② 担当 渡邊武(教授)</p> <p>担当者の追加② 担当 顕原嗣尚(兼任)</p> <p>薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱</p>
		疾病学 II	4前 5		2		2				<p>教員の追加(21) 担当 顕原嗣尚(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>教員の追加(21) 担当 濱崎直孝(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>就任辞退による② 担当 渡邊武(教授)</p> <p>薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱</p>
		臨床検査学	4後 5		2		2	+	+	1	<p>担当者退職により削除(23) 担当 北市清幸(准教授)</p> <p>教員の追加(21) 担当 顕原嗣尚(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>助手から昇格による担当者の追加② 担当 隈博幸(講師) 平成19年9月 教員審査済 判定 可</p> <p>薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し⑱</p>
		医療統計学	3後	2							<p>担当者変更による追加(22) 担当 柳川堯(兼任)</p> <p>辞退による削除(22) 担当 竹垣草世香(兼任)</p>



学科専門科目群（専門科目）	薬学実務実習 事前学習											教員の追加（23） 担当 仮屋園博子（教授） 平成23年1月 教員審査済 判定 可 薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による処方箋解析学の科目名称の変更、移動および単位の増加(21)	
		処方箋解析	4後	3			2 +	1	1		1		
		総合実習	4後	1			2	1	2		1		薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による薬学実務実習Ⅰの科目名称の変更、移動および単位の減少(21)
	実務実習												薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による薬学実務実習Ⅰの科目の移動と総合実習への名称の変更(21) 健康上の理由による退職⑳ 担当 永田修一（教授） 担当者への追加予定㉑ 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し（実務実習調整機構による）⑲
		薬学実務実習Ⅰ	4 5	4			2	+	2				
		薬学実務実習病院 薬学実務実習Ⅱ	5通 5→6	10			2	1	2		1		実務実習の内容の明確な表示による名称変更(21) 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し（実務実習調整機構による）⑲
		薬学実務実習薬局 薬学実務実習Ⅲ	5通 5→6	10			2	1	2		1		実務実習の内容の明確な表示による名称変更(21) 薬学実務実習が5年次に確定したことによる配当年次の見直し（実務実習調整機構による）⑲
		総合演習Ⅰ	4通	2			19 20	7 8	5				教員の追加（23） 担当 佐藤博（准教授） 平成22年7月 教員審査済 判定 可 担当者退職により削除（23） 担当 安河内孝徳（准教授） 担当者退職により削除（23） 担当 北市清幸（准教授） 担当者死亡により削除（23） 担当 荒川正幸（教授） 教育体制充実のため担当を追加（22） 担当 佐藤博（准教授） 平成22年7月 提出予定 教員の追加（23） 担当 佐藤博（准教授） 平成22年7月 教員審査済 判定 可 担当者退職により削除（23） 担当 安河内孝徳（准教授） 担当者退職により削除（23） 担当 北市清幸（准教授） 担当者死亡により削除（23） 担当 荒川正幸（教授） 教育体制充実のため担当を追加（22） 担当 佐藤博（准教授） 平成22年7月 提出予定
		総合演習Ⅱ	5通	2			19 20	7 8	5				





(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	倫理学	2	2	一般	選択	隔年開講のため。
2	ウイルス学	2	6	専門	選択	平成21年度入学生の課程より配当年次を3年から6年へ変更したため。

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	食文化論	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
2	国際交流研究	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより他学科専門科目へ移行した。
3	オランダ研究	2	3	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
4	国際観光論	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより他学科専門科目へ移行した。
5	国際福祉論	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより他学科専門科目へ移行した。
6	国際栄養論	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより他学科専門科目へ移行した。
7	流通論	2	2	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
8	事務管理論	2	3	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより他学科専門科目へ移行した。
9	労務管理論	2	2	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより他学科専門科目へ移行した。
10	各国経済事情	2	3	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
11	調剤学実習	1	4	専門	必修	薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行い、再編成の結果、調剤学の実習を組み合わせた調剤Ⅰおよび調剤Ⅱへ発展的に統合した。
12	歴史学	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
13	文化人類学	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
14	余暇論	2	2	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
15	社会調査法	2	2	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
16	視聴覚教育メディア論	2	2	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
17	地理学	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより他学科専門科目へ移行した。
18	観光入門	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
19	社会福祉入門	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
20	科学史	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより廃止した。
21	健康栄養入門	2	1	一般	選択	全学的な共通科目見直しにより他学科専門科目へ移行した。

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通科目群について大幅な変更を行った。人間形成に資する共通科目は、その教育課程に幅の広さと深さが求められているとの認識から、現代の社会情勢、学生の気質等を勘案しつつ科目の改廃を行った。その結果、通年科目をすべて学期完結型に科目分割し、新設3科目、廃止6科目、専門科目への区分移行7科目（薬学科への移動1科目「国際薬事論」含む）となった。また、科目区分も3から5区分に細分化するとともに、区分ごとの卒業要件単位を見直し、学生の履修に利便を図ることとした。(19)

「調剤学実習」については、薬学実務実習コアカリキュラムに従い事前学習教育の明確な位置づけを行い、再編成の結果、実習を組み合わせた「調剤Ⅰ」「調剤Ⅱ」へ発展的に統合した。(21)

「宗教学」「社会調査法」を今年度不開講とした理由は兼任教諭が所属する他学科の事情による。(22)

「倫理学」は、隔年開講科目であるため不開講、「ウイルス学」は、平成21年度入学生の教育課程より配当年次を3年から6年へ変更したため、実施年度までを不開講とする。

全学共通科目については、本学の建学の精神・基本理念、使命等を明確にすることを目的とし、また、学生のニーズ・社会情勢に基づいて科目の新設、改廃を行なった。新設科目については、4学科が相互に適切な関連性を保つことの重要性和有効性について学ぶとともに、本学の基本理念を十分認識できるように構成した。また、より一層、学部・学科の充実を図るため全学共通科目群に配置している科目を整備し、学科専門科目群へ移行した。(23)

新カリキュラムについては、4月のオリエンテーションで「履修の手引」を配布し説明しているため十分周知できている。(19)(20)(21)(22)(23)

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.12}$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	58,843㎡	0㎡	0㎡	58,843㎡			
	運動場用地	23,801㎡	0㎡	0㎡	23,801㎡			
	小 計	82,644㎡	0㎡	0㎡	82,644㎡			
	そ の 他	5,740㎡	0㎡	0㎡	5,740㎡			
	合 計	88,384㎡	0㎡	0㎡	88,384㎡			
(2) 校 舎		専 用 32,982.36㎡ ( 32,982.36㎡)	共 用 0㎡ ( 0㎡)	共用する他の 学校等の専用 0㎡ ( 0㎡)	計 32,982.36㎡ (32,982.36㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室 23室	演 習 室 24室	実験実習室 36室	情報処理学習施設 2室 (補助職員 1人)	語学学習施設 2室 (補助職員 2人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 薬学部 薬学科			室 数 33 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	薬学部	7,400 [1,910]	146 [87]	70 [67]	400	21,530	110	完成年度予定数
		7,098 [1,898]	146 [87]	70 [67]	385	21,461		追加購入及び購読の見直しによる(23)
		6,563 [1,871]	148 [89]	67 [64]				追加購入による(22)
		6,244 [1,859]	145 [84]	66 [65]	349	21,392		追加購入による(21)
		5,426 [1,823]	123 [64]	24 [23]	312	21,267		追加購入による(20)
		5,000 [1,000]	100 [40]	20 [20]	460	20,510	110	
	(3,000 [1,000])	(100 [40])	(20 [20])	(100)	(18,965)	(110)		
計	7,098 [1,898] (3,000 [1,000])	146 [87] ( 100 [40])	70 [67] ( 20 [20])	385 (100)	21,461 (18,965)	110 (110)		
(6) 図 書 館	面 積 2,614.67㎡	閱 覧 座 席 数 276席	収 納 可 能 冊 数 110,000冊				大学全体	
(7) 体 育 館	面 積 2,021.61㎡	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要 テニスコート		グラウンド		大学全体		
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	当該申請学部図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。
	教員1人当り研究費等	533千円	533千円	図書購入費	千円	79,500千円	31,000千円	
	共同研究費等	6,000千円	10,000千円	設備購入費	千円	892,274千円	381,726千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 2,150千円 2,480千円	第2年次 1,900千円 2,080千円	第3年次 1,900千円 2,080千円	第4年次 1,900千円 2,080千円	第5年次 1,900千円 2,080千円	第6年次 1,900千円 2,080千円	入学金及び実習教育費の改定により平成21年度入学者より適用。平成20年度以前の入学者は従前の納付金(21)
学生納付金以外の維持方法の概要		積立金等						

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	長崎国際大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人間社会学部								長崎県佐世保市 ハウステンボス町 2825番7	
国際観光学科	4	180	20	860	学士（観光学）	0.77	平成12		
社会福祉学科	4	80	60	400	学士（社会福祉学）	0.46	平成12		
健康管理学部									
健康栄養学科	4	400	10	420	学士（栄養学）	0.93	平成14		平成23年度からの入学定員の変更による。ただし、2年次以降は学年進行中により従前の定員。(23)
大学の名称	長崎短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
食物科								長崎県佐世保市 椎木町600	
製菓コース	2	60	—	120	短期大学士（製菓）	0.70	昭和41		
調理コース	2				短期大学士（調理）				
保育学科									
保育専攻	2	80	—	160	短期大学士（保育学）	1.14	昭和47		
介護福祉専攻	2	20	—	40	短期大学士（福祉）	0.77	平成22		
英語科	2	80	—	160	短期大学士（英語）	0.80	平成元		保育学科はH22に専攻分離のため、定員超過率は学科として記載(22)

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

### (1) 担当教員表

<薬学部 薬学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	荒川正幸 (58)	平成18年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑱
				生物物理化学 基本科学実習					国際薬事論	担当科目追加⑳ 教員資格審査済平20年1月㉑
				薬学英語 製剤学 治験コーディネーター論						
										平成22年12月本人死亡により 削除(23) 全ての科目において、担当で きる教員資格審査済の専任教 員を認可時より増員しており 支障はない。
				薬剤学Ⅰ 薬剤学実習					薬剤学	薬学実務実習コアカリキュラ ムに従って事前学習教育の明 確な位置づけを行う再編成に よる科目名称の変更(21)
									総合演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究 卒業研究	担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21)  学年・学期毎の総合演習の内 容を明確に表現・実施するた めの科目の分割(21)
専	教授	大庭 義史 (39)	平成18年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑱
				分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 機器分析学 分析化学実習 日本薬局方概論 薬学英語					総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ	学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21)
									総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ	学期毎の総合演習Ⅲの内容を明確 に表現・実施するための科目の分 割(23)
									卒業研究 卒業研究	学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21)
専	教授	岡村 良 (59)	平成19年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑱
				基礎の物理学 基礎の数学 地球環境論						
				コンピュータ基礎演習Ⅰ					コンピュータ基礎演習ⅠA コンピュータ基礎演習ⅠB	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑱
				コンピュータ基礎演習Ⅱ					コンピュータ基礎演習ⅡA コンピュータ基礎演習ⅡB	
				宇宙と薬学					総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ	学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21)
									総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ	学期毎の総合演習Ⅲの内容を明確 に表現・実施するための科目の分 割(23)
	卒業研究 卒業研究	学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21)								

専	教授	小林 秀光 (45)	平成18年4月	教養セミナー				教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>19)</sup>
				微生物学 病原微生物学 微生物学実習 衛生化学Ⅰ 衛生化学Ⅱ 微生物薬品学				生命倫理	担当科目追加 (23) 教員資格審査済平成23年1月 (23)
				総合演習				総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
				総合演習				総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ	学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)
				総合演習				卒業研究 卒業研究	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
専	教授	榑原 隆三 (58)	平成18年4月	教養セミナー				教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>19)</sup>
				生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学Ⅲ 生化学実習 分子生物学				栄養学総論 臨床栄養学	担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21)
				総合演習				総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
				総合演習				総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ	学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)
				総合演習				卒業研究 卒業研究	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
専	教授	柴田 攻 (60)	平成19年4月	教養セミナー				教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>19)</sup>
				薬品物理化学Ⅰ 薬品物理化学Ⅱ 物理化学実習 生物物理化学 界面化学					
				総合演習				総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
				総合演習				総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ	学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)
				総合演習				卒業研究 卒業研究	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
専	教授	正山 征洋 (63)	平成19年4月	教養セミナー				教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>19)</sup>
				生薬学 生薬学実習 天然物化学 薬用植物学				国際薬事論	担当科目追加 <sup>20)</sup> 教員資格審査済平20年1月 <sup>20)</sup>
				和漢薬概論				総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
				総合演習				総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ	学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)
				総合演習				卒業研究 卒業研究	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)

専	教授	濱崎 直孝 (64)	平成18年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑱</sup>
				基本科学実習 臨床医学概論 病理学 臨床生理学 臨床生理学実習 臨床検査学					疾病学Ⅰ 疾病学Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ 卒業研究 卒業研究	担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21) 学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
専	教授	原田平 輝志 (50)	平成19年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑱</sup>
				基本科学実習 放射線化学 放射線化学実習 放射線生物学 放射性薬品学					有機薬化学演習 有機薬化学実習 生物有機化学 薬品製造学Ⅰ 薬品製造学Ⅱ 創薬化学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ 卒業研究 卒業研究	担当科目追加 <sup>㉒</sup> 教員資格審査済平成19年9月 <sup>㉒</sup> 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21) 学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
専	教授	姫野 勝 (66)	平成18年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑱</sup>
				薬学入門 細胞生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅱ 分子生物学					総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ 卒業研究 卒業研究	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21) 学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
専	教授	山口 泰史 (46)	平成18年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑱</sup>
				国際薬事論 薬化学総論 有機薬化学Ⅰ 有機薬化学Ⅱ 有機薬化学演習 有機薬化学実習 生物有機化学 薬品製造学Ⅰ 薬品製造学Ⅱ 創薬化学					総合演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ 卒業研究 卒業研究	担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21) 学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23) 担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)

専	教授	山本 経之 (59)	平成18年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑱</sup>
				基本科学実習 薬理学Ⅰ(総論) 薬理学Ⅱ(各論・中核) 薬理学Ⅲ(各論・末梢) 薬理学実習 臨床薬理学 応用薬理学 薬物治療学Ⅰ 薬物治療学Ⅱ					総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21) 学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)
専	教授	横田 貞記 (64)	平成19年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑱</sup>
				基礎の生物学 機能形態学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 機能形態学実習 免疫学Ⅰ 免疫学Ⅱ 免疫学実習 病理学					総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21) 学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)
専	教授	和田 守正 (56)	平成18年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑱</sup>
				基礎の生物学 基本科学実習 分子生物学 微生物学実習 遺伝子工学 ゲノム創薬学					生命倫理 担当科目追加(23) 教員資格審査済平成23年1月(23)	
専	教授	渡邊 武 (66)	平成19年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	現職の研究期間延長のため 就任延期 <sup>⑲</sup> 就任辞退 <sup>⑳</sup> 渡邊教授の後任として採用 教員資格審査済平成19年9月 <sup>㉑</sup>
				免疫学Ⅰ 免疫学Ⅱ ウイルス学 免疫学実習 臨床医学概論 病理学 臨床生理学実習 疾病学Ⅰ 疾病学Ⅱ 総合演習					他科目担当も含め、後述の頭原教授を教員資格審査のうえ専任として採用(21)	
専	教授	岸原 健二 (46)	平成20年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	現職の研究期間延長のため 就任延期 <sup>⑲</sup> 就任辞退 <sup>⑳</sup> 渡邊教授の後任として採用 教員資格審査済平成19年9月 <sup>㉑</sup>
				総合演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ					学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21) 学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)	
専	教授	岸原 健二 (46)	平成20年4月	教養セミナー					教養セミナーA 教養セミナーB	現職の研究期間延長のため 就任延期 <sup>⑲</sup> 就任辞退 <sup>⑳</sup> 渡邊教授の後任として採用 教員資格審査済平成19年9月 <sup>㉑</sup>
				総合演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ					学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21) 学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)	

専	教授	仮屋園博子 (52)	平成19年4月	教養セミナー	教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる(19)
				調剤学 I	調剤 I	薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による調剤学の実習を組合せた調剤学 I の科目名称の変更(21)
				調剤学 II	調剤 II	薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による調剤学の実習を組合せた調剤学 II の科目名称の変更(21)
				調剤学実習 老人・小児の調剤学		薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による調剤学の実習を組合せた調剤 I および調剤 II への発展的統合(21)
				薬学実務実習 I	治療コネクト論 事前学習(処方箋解析)	担当科目追加(23) 教員資格審査済平成23年1月(23)
				薬学実務実習 II	総合実習	薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による薬学実務実習 I の科目名称の変更(21)
				薬学実務実習 III	薬学実務実習 病院	実務実習の内容の明確な表示による名称変更(21)
					薬学実務実習 薬局	実務実習の内容の明確な表示による名称変更(21)
					薬剤学 I	担当科目追加(21) 教員資格審査済平成21年1月(21)
					薬剤学	薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による科目名称の変更(21)
					薬剤学 II	担当科目追加(21) 教員資格審査済平成21年1月(21)
					生物薬剤 薬物動態学 臨床栄養学	薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による薬剤学 II の科目名称の変更(21) 担当科目追加(21) 教員資格審査済平成21年1月(21)
					総合演習 総合演習 I 総合演習 II	担当科目追加(21) 教員資格審査済平成21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
					総合演習 III A 総合演習 III B 総合演習 III	学期毎の総合演習 III の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)
					卒業研究 卒業研究	担当科目追加(21) 教員資格審査済平成21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)



専	助教授	小笠原正良 (58)	平成18年4月	教養セミナー	准教授			教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>19)</sup>
				調剤学実習				薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による調剤学の実習を組合せた調剤Ⅰおよび調剤Ⅱへの発展的統合(21)	
				処方箋解析学				薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による処方箋解析学の科目名称の変更(21)	
				病院薬学					
				薬学実務実習Ⅰ				担当科目追加(22) 教員資格審査済平21年7月	
				薬学実務実習Ⅱ				担当科目追加(22) 教員資格審査済平21年7月	
				薬学実務実習Ⅲ				担当科目追加(22) 教員資格審査済平21年7月	
				総合実習				薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による薬学実務実習Ⅰの科目名称の変更(21)	
				薬学実務実習 病院				実務実習の内容の明確な表示による名称変更(21)	
				薬学実務実習 薬局				実務実習の内容の明確な表示による名称変更(21)	
				総合演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ				担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)	
				総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ				学期毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)	
				卒業研究 卒業研究				担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)	
				専				助教授	小川由起子 (39)
基本科学実習 生化学Ⅰ 微生物学 病原微生物学 微生物学実習 微生物薬品学 臨床生理学実習	総合演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ	担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)							
	総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ	学期毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)							
	卒業研究 卒業研究	担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)							

専	助教授	北市 清幸 (41)	平成18年4月	教養セミナー	准教授			教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑱</sup>	
				基本科学実習 毒性学 薬学英语 薬理学Ⅰ(総論) 薬理学Ⅱ(各論-中級) 薬理学Ⅲ(各論-抹消) 薬理学実習 臨床薬理学 応用薬理学 臨床生理学実習 薬物治療学Ⅰ  臨床検査学				薬物治療学Ⅱ	平成23年3月退職(23) 全ての科目において、担当できる教員資格審査済の専任教員を認可時より増員しており支障はない。  担当科目追加 <sup>㉔</sup> 教員資格審査済平成20年1月 <sup>㉔</sup>	
				総合演習				総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 卒業研究 卒業研究	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)	
					専	准教授	佐藤 博 (49)	平成20年4月	基本科学実習 教養セミナーA 教養セミナーB 化粧品学 衛生薬学実習 薬学英语 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 環境科学  総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ 卒業研究 卒業研究	他学科より異動 <sup>㉔</sup> 教員資格審査済平成17年9月 <sup>⑱</sup>  担当科目追加 <sup>㉔</sup> 教員資格審査済平成20年1月 <sup>㉔</sup>  平成22年7月 変更書提出予定(22) 担当科目追加(23) 教員資格審査済平成22年7月(23) 学期毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)
専	助教授	高井 伸彦 (37)	平成18年4月	教養セミナー	准教授			教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑱</sup>	
				放射線化学 放射線化学実習 放射線生物学  放射性薬品学				分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 機器分析学 日本薬局方概論  分析化学実習 基本科学実習	平成19年8月 変更書提出予定 <sup>⑱</sup> 担当科目追加 <sup>㉔</sup> 教員資格審査済平成19年9月 <sup>㉔</sup>	
				総合演習				総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ  総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習Ⅲ 卒業研究 卒業研究	学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)  学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)	

								教養セミナーA 教養セミナーB 基礎の生物学 基本科学実習 細胞生物学 I 細胞生物学 II 分子生物学 微生物学実習 遺伝子工学 ゲノム創薬学 病理学 生化学 I 生化学 II 生化学 III 薬学英語 総合演習 総合演習 I 総合演習 II 総合演習 III A 総合演習 III B 総合演習 III 卒業研究 卒業研究	新規採用 <sup>㉔</sup> 教員資格審査済平成19年9月 <sup>㉔</sup>  担当科目追加 (23) 教員資格審査済平成23年1月 (23)  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
専	助教授	深澤 昌史 (47)	平成18年9月	教養セミナー 生化学 I 生化学 II 生化学 III 生化学実習 分子生物学 免疫学 I 免疫学 II ウイルス学 免疫学実習 薬学英語  総合演習	准教授			教養セミナーA 教養セミナーB  総合演習 I 総合演習 II 総合演習 III A 総合演習 III B 総合演習 III 卒業研究 卒業研究	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>㉑</sup>  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)
専	助教授	丸茂 義輝 (63)	平成18年9月	教養セミナー 基礎の化学 衛生薬学実習 裁判化学 農薬学 毒性学  総合演習	専	教授 助教授	丸茂 義輝 (65)	教養セミナーA 教養セミナーB  衛生薬学実習 裁判化学 農薬学 毒性学 総合演習 総合演習 I 総合演習 II 総合演習 III A 総合演習 III B 総合演習 III 卒業研究 卒業研究	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>㉑</sup>  担当科目追加(21) 教員資格審査済平成21年1月(21) 担当科目追加(21) 裁判化学 教員資格審査済平成21年1月(21) 農薬学 准教授から教授への昇格 教員資格審査済平成17年9月(21) 毒性学 准教授から教授への昇格 教員資格審査済平成21年1月(21) 総合演習 教員資格審査済平成21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)  准教授から教授への昇格 教員資格審査済平成21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)

専	助教授	安河内孝徳 (46)	平成18年4月	教養セミナー	准教授			教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑱
				生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学Ⅲ 生化学実習 細胞生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅱ 分子生物学 免疫学Ⅰ 免疫学Ⅱ 免疫学実習 遺伝子工学					平成22年7月退職(23) 全ての科目において、担当できる教員資格審査済の専任教員を認可時より増員しており支障はない。
専	講師	田中啓太郎 (30)	平成18年4月	教養セミナー				教養セミナーA 教養セミナーB	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑱
				基本科学実習 有機薬化学Ⅱ 有機薬化学演習 有機薬化学実習 生物有機化学 薬品製造学Ⅰ 薬品製造学Ⅱ 創薬化学					
専	講師	出口 雄也 (27)	平成20年4月	食品機能学	助教			基礎の化学 薬化学総論 有機薬化学Ⅰ	担当科目追加(23) 教員資格審査済平成23年1月(23)
専	講師	中原 広道 (27)	平成20年4月	物理化学実習	助教			基本科学実習 衛生化学Ⅰ 衛生化学Ⅱ 衛生薬学実習 環境科学	担当科目追加(21) 教員資格審査済平成21年1月(21) 助教として可 学内辞令で助手であったものを今回助教として発令(21)
専	講師	中原 広道 (27)	平成20年4月	物理化学実習	助教			学内辞令では助手として発令(21)	
								基本科学実習	担当科目追加(22) 教員資格審査済平成22年1月
								物理化学実習	担当科目追加(22) 教員資格審査済平成22年1月
								基礎の物理学	担当科目追加(22) 教員資格審査済平成22年1月
								生物物理化学	担当科目追加(22) 教員資格審査済平成22年1月
								界面化学	担当科目追加(22) 教員資格審査済平成22年1月
								薬品物理化学Ⅰ 薬品物理化学Ⅱ	担当科目追加(23) 教員資格審査済平成23年1月(23)

専	講師	原口けいまゆみ (32)	平成19年4月	教養セミナー 基本科学実習 機能形態学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 機能形態学実習 免疫学実習 薬学英语 総合演習	専任	准教授	藤原 俊幸 (51)	平成19年4月	教養セミナーA 教養セミナーB 基本科学実習 機能形態学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 機能形態学実習 免疫学実習 薬学英语 総合演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習ⅢC 卒業研究 卒業研究 細胞生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅱ 生化学実習	平成19年3月 原口けいまゆみ講師 就任辞退による担当者 変更⑯ 平成19年8月 変更書提出予定⑰ 教員資格審査済平成19年9月⑱ 学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21) 学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確 に表現・実施するための科目の分 割(23) 学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21) 担当科目追加⑳ 教員資格審査済平成19年9月㉑ 担当科目追加(23) 教員資格審査済平成23年1月(23)
専	講師	大磯 茂 (36)	平成20年4月	教養セミナー 医薬品安全性学 調剤学Ⅰ 調剤学Ⅱ 調剤学実習 医薬品情報論 薬学実務実習Ⅰ 薬学実務実習Ⅱ 薬学実務実習Ⅲ 総合演習					教養セミナーA 教養セミナーB 調剤Ⅰ 調剤Ⅱ 総合実習 薬学実務実習 病院 薬学実務実習 薬局 薬剤学Ⅰ 薬剤学 薬剤学Ⅱ 生物薬剤 薬物動態学 治験コネクト論 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習ⅢA 総合演習ⅢB 総合演習ⅢC 卒業研究 卒業研究	通年科目を学期完結型に 変更したことによる⑰ 薬学実務実習コアカリキュラムに 従って事前学習教育の明確な位置 づけを行う再編成による調剤学Ⅰの 実習を組合せた調剤学Ⅰの科目名 称の変更(21) 薬学実務実習コアカリキュラムに 従って事前学習教育の明確な位置 づけを行う再編成による調剤学Ⅱの 実習を組合せた調剤学Ⅱの科目名 称の変更(21) 薬学実務実習コアカリキュラムに 従って事前学習教育の明確な位置 づけを行う再編成による調剤学Ⅰ および調剤Ⅱへの 発展的統合(21) 薬学実務実習コアカリキュラムに 従って事前学習教育の明確な位置 づけを行う再編成による薬学実務 実習Ⅰの科目名称の変更(21) 実務実習の内容の明確な表示によ る名称変更(21) 実務実習の内容の明確な表示によ る名称変更(21) 担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 薬学実務実習コアカリキュラムに 従って事前学習教育の明確な位置 づけを行う再編成による科目名称 の変更(21) 担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 薬学実務実習コアカリキュラムに 従って事前学習教育の明確な位置 づけを行う再編成による薬剤学Ⅱ の科目名称の変更(21) 担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 平成23年7月変更書 提出予定(23) 学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21) 学年毎の総合演習Ⅲの内容を明確 に表現・実施するための科目の分 割(23) 学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21)

								教養セミナーA 教養セミナーB 基本科学実習 臨床生理学実習 臨床検査学 総合演習 総合演習 I 総合演習 II 総合演習 III A 総合演習 III B 総合演習 III 卒業研究 卒業研究 臨床医学概論 病理学 臨床生理学	助手から昇格⑩  教員資格審査済平成19年9月⑩  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)  学年毎の総合演習 III の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)  教員資格審査済平成20年1月⑩
専	講師	限 博幸 (37)	平成19年10月	教養セミナー 薬剤学実習  調剤学実習 医薬品情報論  処方箋解析学 病院薬学  治験コーディネイト論 事前学習(調剤Ⅰ) 事前学習(調剤Ⅱ) 事前学習(生物薬剤)  薬学実務実習Ⅰ 薬学実務実習Ⅱ 薬学実務実習Ⅲ  総合演習 総合演習 I 総合演習 II 総合演習 III A 総合演習 III B 総合演習 III 卒業研究 卒業研究	専 講師 廣田 和仁 (34) 平成19年4月	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑨  薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による調剤学の実習を組合せた調剤Ⅰおよび調剤Ⅱへの発展的統合(21)  薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による処方箋解析学の科目名称の変更(21)  担当科目追加(23) 教員資格審査済平成23年1月(23)  薬学実務実習コアカリキュラムに従って事前学習教育の明確な位置づけを行う再編成による薬学実務実習Ⅰの科目名称の変更(21) 実務実習の内容の明確な表示による名称変更(21) 実務実習の内容の明確な表示による名称変更(21) 担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21) 学年毎の総合演習 III の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23) 担当科目追加(21) 教員資格審査済平21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)			
専	講師	森永 紀 (32)	平成19年4月	教養セミナー 基本科学実習 生薬学 生薬学実習 天然物化学 薬用植物学 和漢薬概論 薬学英語  総合演習	専 講師 森永 紀 (32) 平成19年4月	教養セミナーA 教養セミナーB  総合演習 I 総合演習 II 総合演習 III A 総合演習 III B 総合演習 III 卒業研究 卒業研究	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑨  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)  学年毎の総合演習 III の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(23)  学年・学期毎の総合演習の内容を明確に表現・実施するための科目の分割(21)		

					専	助教	小山田浩子 (36)	平成20年4月	基本科学実習 微生物学 病原微生物学 微生物学実習 基礎の生物学	助手から昇格② 教員資格審査済平成20年1月②
					専	助教	神谷誠太郎 (30)	平成20年4月	基本科学実習 薬剤学 I 薬剤学 薬剤学実習 基礎の物理学 製剤学	助手から昇格② 教員資格審査済平成20年1月② 薬学実務実習コアカリキュラムに 従って事前学習教育の明確な位置 づけを行う再編成による科目名称 の変更(21) 担当科目追加(23) 教員資格審査済平成23年1月(23)
					専	助教	野嶽 勇一 (35)	平成20年4月	基本科学実習 生化学 I 生化学実習 基礎の生物学	助手から昇格② 教員資格審査済平成20年1月②
					専	助教	山本 緑 (34)	平成20年4月	基本科学実習 生化学 I 生化学実習 衛生化学 I 衛生薬学実習 基礎の化学	助手から昇格② 教員資格審査済平成20年1月②
					専	教授	長岡 寛明 (46)	平成21年4月	教養セミナーA 教養セミナーB 食と薬 健康薬学 衛生化学 I 衛生化学 II 食品機能学 環境科学 衛生薬学実習 総合演習 総合演習 I 総合演習 II 総合演習 III A 総合演習 III B 総合演習 III 卒業研究 卒業研究	新規採用(21) 教員資格審査済平成21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21) 学期毎の総合演習 III の内容を明確 に表現・実施するための科目の分 割(23) 教員資格審査済平成21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21)
					専	教授	穎原 嗣尚 (66)	平成21年4月	教養セミナーA 教養セミナーB 臨床医学概論 疾病学 I 疾病学 II 臨床生理学 臨床生理学実習 臨床検査学 薬理学実習 応用薬理学 総合演習 総合演習 I 総合演習 II 総合演習 III A 総合演習 III B 総合演習 III 卒業研究 卒業研究	新規採用(21) 教員資格審査済平成21年1月(21) 担当科目追加(23) 教員資格審査済平成22年9月(23) 教員資格審査済平成21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21) 学期毎の総合演習 III の内容を明確 に表現・実施するための科目の分 割(23) 教員資格審査済平成21年1月(21) 学年・学期毎の総合演習の内容を 明確に表現・実施するための科目 の分割(21)
					専	助教	藤木 司 (38)	平成21年4月	基本科学実習 免疫学 I 免疫学実習 生化学実習 分子生物学	新規採用(21) 教員資格審査済平成21年1月(21)
					専	助教	宇都 拓洋 (32)	平成22年4月	基本科学実習 生薬学実習 基礎の化学 天然物化学 薬用植物学	助手からの昇格(22) 教員資格審査済平成22年1月

					専	助教	小野原 侑子 (28)	平成22年4月	基本科学実習 機能形態学実習 基礎の生物学 機能形態学 I	助手からの昇格(22) 教員資格審査済平成22年1月
					専	助教	縄田 陽子 (29)	平成22年4月	基本科学実習 薬理学実習 基礎の生物学 薬理学 I (総論) 薬理学 II (各論・中枢) 薬理学 III (各論・末梢) 臨床薬理学 応用薬理学 薬物治療学 I 薬物治療学 II	助手からの昇格(22) 教員資格審査済平成22年1月
					専	助教	萩森 政頼 (33)	平成22年4月	基本科学実習 有機薬化学実習 基礎の化学 薬化学総論 薬物動態学 臨床薬物代謝学 有機薬化学 I 有機薬化学 II 有機薬化学演習 生物有機化学 薬品製造学 I 薬品製造学 II 創薬化学	助手からの昇格(22) 教員資格審査済平成22年1月  担当科目追加(23) 教員資格審査済平成23年1月(23)
					専	助教	藤本(旧姓 藤田) 京子 (33)	平成22年4月	基本科学実習 生化学実習 基礎の生物学 分子生物学 遺伝子工学 微生物学実習	助手からの昇格(22) 教員資格審査済平成22年1月 ※審査時 藤田姓
					専	助教	中村 沙織 (29)	平成22年4月	分析化学 I 分析化学 II 機器分析学 日本薬局方概論 分析化学実習	助手からの昇格として 平成22年7月 変更書提出予定(22) 担当科目追加(23) 教員資格審査済平成22年7月(23)
兼任	教授	青山一有三 (59)	平成18年4月	ホスピタリティ概論 社会調査法	兼任	教授	安徳 勝憲 (63)	平成21年4月	ホスピタリティ概論	担当科目追加(21)  隔年開講につき今年度開講せず(21) 全学的見直しによる科目削除(23)
兼任	教授	浅田 智子 (50)	平成18年4月	芸術論						
兼任	教授	安部 直樹 (61)	平成18年4月	茶道文化 I 茶道文化 II 茶道文化 III 茶道文化 IV					茶道文化 I A 茶道文化 I B 茶道文化 II A 茶道文化 II B 茶道文化 III A 茶道文化 III B 茶道文化 IV A 茶道文化 IV B ホスピタリティ概論	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑱  担当科目追加⑲
					兼任	教授	荒川一正幸 (58)	平成19年4月	科学史	担当者追加⑲ 全学的見直しによる科目削除(23)
兼任	教授	石上 普保 (69)	平成18年4月	英語演習 I 英語演習 II 英語演習 III 英語演習 IV 比較文化論 国際観光論					英語演習 I A 英語演習 I B 英語演習 II A 英語演習 II B 英語演習 III A 英語演習 III B 英語演習 IV A 英語演習 IV B	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑲ 定年退職⑳
兼任	教授	岩本 敏夫 (65)	平成18年4月	国際観光論						科目分野が国際観光学科専門科目群に移行したため削除⑲
兼任	教授	魚谷 和弘 (65)	平成18年4月	観光入門	兼任	准教授 講師	李 昌訓 (40)	平成20年4月	観光入門	担当者変更㉑ 平成22年度から職位変更(22) 全学的見直しによる科目削除(23)
兼任	教授	木村 勝彦 (49)	平成18年4月	生命倫理 倫理学 宗教学					ホスピタリティ概論 ホスピタリティ概論 哲学 異文化適応演習 I 異文化適応演習 II	担当科目辞退(21)  担当科目追加⑲ 担当科目の辞退(21) 担当科目追加(23) 担当科目追加(21) 担当科目追加(22)
					兼任	教授	潮谷 義子 (70)	平成21年4月	ホスピタリティ概論	担当科目追加(21)

兼任	教授	関家 新助 (71)	平成18年4月	哲学 ホスピタリティ概論						平成21年3月定年退職 (21)
兼任	教授	竹本 泰一郎 (70)	平成18年4月	健康栄養学	兼任	講師		平成19年4月		科目分野が健康栄養学科専門科目群に移行したため削除 <sup>⑨</sup> 他学科専任教員を退職し非常勤講師として採用 <sup>⑨</sup> 専任教員担当のため削除 (23)
兼任	教授	立平 進 (57)	平成18年4月	歴史学					生涯学習論	担当科目追加 (22)
兼任	教授	中根 一允文 (69)	平成18年4月	ヘルスカウン セリング	兼任	講師		平成20年4月		他学科専任教員を退職し非常勤講師として採用 <sup>⑨</sup> 全学的見直しによる科目削除 (23)
兼任	教授	長岡 寛明 (43)	平成18年4月	公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 衛生薬学実習 環境科学 食と薬 総合演習					衛生化学Ⅰ 衛生化学Ⅱ	担当科目追加 <sup>⑨</sup> 平成21年4月から薬学科へ 専任教員として転籍 (21)
					兼任	教授	濱崎 直孝 (64)	平成19年4月	生命倫理	担当者追加 <sup>⑨</sup>
兼任	教授	細田 亜津子 (57)	平成18年4月	世界文化遺産論						
兼任	教授	真鍋 祐之 (54)	平成18年4月	健康栄養入門	兼任	教授	山本 孝史 (56)	平成19年4月		担当者変更 <sup>⑨</sup> 科目分野が健康栄養学科専門科目群に移行したため削除 (23)
					兼任	教授	箕輪 恵吾 (44)	平成19年4月	スポーツ実習Ⅰ スポーツ実習Ⅱ	担当者追加 <sup>⑨</sup> 平成23年3月退職 (23)
兼任	教授	森川 毅 (70)	平成18年4月	労務管理論						科目分野が国際観光学科専門科目群に移行したため削除 <sup>⑨</sup>
兼任	教授	山本 孝史 (56)	平成18年4月	栄養学総論 臨床栄養学	兼任	准教授	牧山 嘉見 (44)	平成23年4月	臨床栄養学	担当者変更 (23)
兼任	教授	和田 光史 (78)	平成18年4月	地球環境論						平成21年3月定年退職 (21)
兼任	助教授	池永 正人 (49)	平成18年4月	地理学		教授				平成18年4月から職位変更 <sup>⑨</sup> 科目分野が国際観光学科専門科目群に移行したため削除 (23)
					兼任	准教授	海老澤 昭郎 (51)	平成19年4月	日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	担当者追加 <sup>⑨</sup> 別の兼任教員担当のため削除 (23)
兼任	助教授	嶋内 麻佐子 (52)	平成18年4月	茶道文化Ⅰ 茶道文化Ⅱ 茶道文化Ⅲ 茶道文化Ⅳ		教授			茶道文化ⅠA 茶道文化ⅠB 茶道文化ⅡA 茶道文化ⅡB 茶道文化ⅢA 茶道文化ⅢB 茶道文化ⅣA 茶道文化ⅣB	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑨</sup> 平成20年4月から職位変更 <sup>⑨</sup>
兼任	助教授	中野 はるみ (53)	平成18年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ		教授				平成19年4月から職位変更 <sup>⑨</sup> 別の兼任教員担当のため削除 <sup>⑨</sup>
					兼任	教授 准教授	丸茂 義輝 (65)	平成19年4月	文学論 科学史	担当者追加 <sup>⑨</sup> 平成21年4月から職位変更 (21) 全学的見直しによる科目削除 (23)
兼任	助教授	山崎 久子 (55)	平成18年4月	介護概論		教授				平成20年4月から職位変更 <sup>⑨</sup>
兼任	講師	相澤 哲 (39)	平成18年4月	社会学		准教授				平成18年4月から職位変更 <sup>⑨</sup> 担当科目追加 <sup>⑨</sup> 平成21年3月退職 (21)
					兼任	助教	益田 仁 (26)	平成21年4月	社会学	担当者退職のため科目追加 (21)
兼任	講師	李 昌訓 (39)	平成18年4月	コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ		准教授			コリア語ⅠA コリア語ⅠB コリア語ⅡA コリア語ⅡB 学際連携研究	通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑨</sup> 担当科目追加 (23)
兼任	講師	石倉 健二 (40)	平成18年4月	心理学 臨床心理学		准教授				平成18年4月から職位変更 <sup>⑨</sup> 平成20年9月退職 (21)
					兼任	講師	黒山 竜太 (32)	平成20年10月	心理学 臨床心理学	担当者退職により担当科目追加 (21)
					兼任	教授	古賀 義 (64)	平成22年4月	心理学 ヘルスカウンセリング	担当者追加 (22) 担当科目追加 (23)
兼任	講師	尾場 均 (42)	平成18年4月	コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ		准教授			コンピュータ基礎演習ⅠA コンピュータ基礎演習ⅠB コンピュータ基礎演習ⅡA コンピュータ基礎演習ⅡB	平成21年4月から職位変更 (21) 通年科目を学期完結型に変更したことによる <sup>⑨</sup>
兼任	講師	熊谷 賢哉 (34)	平成18年4月	健康科学 スポーツ実習Ⅰ スポーツ実習Ⅱ		教授 准教授				平成20年4月から職位変更 <sup>⑨</sup> 平成23年4月から職位変更 (23)

									兼担	准教授 講師	佐藤 博 (48)	平成18年4月	教養セミナーA 教養セミナーB 教養セミナー 基本科学実習 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 衛生薬学実習 環境科学 薬学英語 基礎の化学 地球環境論	担当者追加⑩ 通年科目を学期完結型に変更したことによる⑨ 平成20年4月より薬学科専任教員として異動⑫ 平成21年4月から職位変更(21) 平成21年科目追加(21)
									兼担	講師	佐藤 大祐 (32)	平成19年4月	地球環境論	担当者追加⑩ 平成21年3月退職
兼担	講師	下島 康史 (33)	平成18年4月	余暇論		兼担	助教	小島 大輔 (28)	平成21年4月				余暇論 地球環境論	平成21年3月前任者退職のため科目の追加(21) 全学的見直しによる科目削除(23) 担当科目追加(21)
兼担	講師	實原 孝志 (31)	平成18年4月	法学		兼任	講師	實原 孝志 (33)	平成21年4月				日本国憲法 法学 日本国憲法	担当科目追加⑩ 平成21年3月退職(21) 退職後非常勤として科目担当(21)
								兼任	講師	岩下 栄一 (63)	平成22年4月		法学 日本国憲法	担当者変更(22) 担当者の辞退(23)
								兼担	講師	脇野 幸太郎 (38)	平成23年4月		法学 日本国憲法	担当者変更(23)
兼担	講師	末松 信子 (34)	平成18年4月	英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 英語演習Ⅲ 英語演習Ⅳ				准教授					英語演習ⅠA 英語演習ⅠB 英語演習ⅡA 英語演習ⅡB 英語演習ⅢA 英語演習ⅢB 英語演習ⅣA 英語演習ⅣB	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑨ 平成20年4月から職位変更⑫ 平成23年3月退職(23)
兼担	講師	孫 勝強 (49)	平成18年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ									中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 比較文化論	通年科目を学期完結型に変更したことによる⑨ 担当科目追加⑩ 担当科目の辞退(21) 平成22年3月退職(22)
兼担	講師	滝 知則 (44)	平成18年4月	国際交流研究 異文化コミュニケーション論 政治学 事務管理論				准教授					比較文化論	科目分野が国際観光学科専門科目群に移行したため削除⑨ 平成22年度から職位変更(22) 担当科目追加⑩
								兼担	講師	田中啓太郎 (30)	平成19年4月		基礎の化学	担当者追加⑩
兼担	講師	田中 誠 (41)	平成18年4月	英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 英語演習Ⅲ 英語演習Ⅳ 検定英語Ⅰ 検定英語Ⅱ				准教授					英語演習ⅠA 英語演習ⅠB 英語演習ⅡA 英語演習ⅡB 英語演習ⅢA 英語演習ⅢB 英語演習ⅣA 英語演習ⅣB	平成18年4月から職位変更⑩ 通年科目を学期完結型に変更したことによる⑨ 担当者変更による削除⑨ 科目削除による削除⑨ 科目削除による削除⑨ 科目削除による削除⑨
兼担	講師	張 在華 (40)	平成18年4月	流通論										科目削除による削除⑨
兼担	講師	西村 貴直 (30)	平成18年4月	社会福祉入門		兼担	教授	高橋 信幸 (63)	平成21年4月				社会福祉入門	担当者の変更(21) 全学的見直しによる科目削除(23)
								兼担	講師	平井美津子 (47)	平成19年4月		英語演習ⅠA 英語演習ⅠB 英語演習ⅡA 英語演習ⅡB 英語演習ⅢA 英語演習ⅢB 実用薬学英会話	担当者追加⑩ 担当科目追加(23)
								兼担	准教授 講師	宮良 俊行 (39)	平成21年4月		スポーツ実習Ⅰ スポーツ実習Ⅱ 地域の理解と連携	担当者の追加(21) 担当科目追加(23) 平成23年4月から職位変更(23) 平成21年3月退職(21)
兼担	講師	山岸 利次 (33)	平成18年4月	教育学		兼担	講師 助教	乙須 翼 (29)	平成21年4月				教育学 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	担当者退職により担当者変更(21) 担当科目追加(23) 平成23年4月から職位変更(23)
								兼担	助教	伊藤 リナ (35)	平成19年4月		スポーツ実習Ⅰ スポーツ実習Ⅱ	担当者追加⑩ 担当者退職(21)
								兼担	講師 助教	韓 榮芝 (44)	平成19年4月		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB	担当者追加⑩ 平成21年から職位変更(21) 担当科目辞退(22)

兼任	講師	相川 康博 (56)	平成18年4月	薬事関係法規Ⅰ 薬事関係法規Ⅱ							専任教員担当のため削除 (22)
兼任	講師	相原 基夫 (33)	平成18年4月	経営学	兼任	講師	新川 一本 (43)	平成19年4月			担当者変更 <sup>⑩</sup> 担当者変更による削除 (22)
兼任	講師	Ahmed S.Uddin (35)	平成18年4月	各国経済事情							科目削除による削除 <sup>⑨</sup>
兼任	講師	池田 悦子 (50)	平成18年4月	国際福祉論							科目分野が国際観光学科専門 科目群に移行したため削除 <sup>⑨</sup>
兼任	講師	生田 滋 (71)	平成18年4月	オランダ研究							科目削除による削除 <sup>⑨</sup>
兼任	講師	内田 滋 (60)	平成18年4月	経済学	兼任	講師 助教	城前 奈美 (35)	平成19年4月			担当者変更 <sup>⑩</sup> 平成21年4月から職位変更 (21)
					兼任	講師	頼原 嗣尚 (64)	平成20年4月	臨床生理学 疾病学Ⅰ		担当者追加 <sup>⑩</sup> 平成21年4月専任として就任 したため削除 (21)
兼任	講師	岡村 良 (59)	平成18年4月	基礎の物理学 基礎の数学 地球環境論 コンピュータ基礎演習Ⅰ							平成19年4月専任として就任 したため削除 <sup>⑨</sup>
兼任	講師	上栴元 勝 (58)	平成18年4月	食文化論							科目削除による削除 <sup>⑨</sup>
兼任	講師	久保田晴久 (57)	平成18年4月	薬制論	兼任	講師	永井 勝幸 (53)	平成21年9月	薬制論		担当者変更 (22)
兼任	講師	近藤 直也 (55)	平成18年4月	文化人類学							全学的見直しによる科目削除 (23)
兼任	講師	正山 征洋 (63)	平成18年4月	薬用植物学							平成19年4月専任として就任 したため削除 <sup>⑨</sup>
兼任	講師	白石 昌也 (59)	平成19年4月	国際関係論	兼任	准教授 講師	滝 知則 (46)	平成21年4月	国際関係論		担当者の変更 (21) 平成22年度から職位変更 (22)
					兼任	講師 助教	小玉 智章 (32)	平成21年4月	基礎の化学 学際連携研究		担当科目追加 (21) 平成22年度から職位変更 (22) 担当科目追加 (23)
					兼任	助教	出口 雄也 (29)	平成21年4月	地球環境論		担当科目追加 (21)
					兼任	講師	城下 未来 (27)	平成20年4月	心理学		担当者追加 <sup>⑩</sup> 兼任教員担当のため削除 (22)
兼任	講師	角 和博 (51)	平成20年4月	視聴覚教育メ ディア論	兼任	教授	浅田 智子 (51)	平成20年4月	視聴覚教育メ ディア論		担当者変更 <sup>⑩</sup> 全学的見直しによる科目削除 (23)
					兼任	教授	立平 進 (58)	平成20年4月	視聴覚教育メ ディア論		担当者変更 <sup>⑩</sup> 全学的見直しによる科目削除 (23)
					兼任	講師	尾場 均 (43)	平成20年4月	視聴覚教育メ ディア論		担当者変更 <sup>⑩</sup> 全学的見直しによる科目削除 (23)
兼任	講師	竹垣草世香 (34)	平成20年4月	医療統計学					統計学		担当者変更 (22) 担当科目追加 <sup>⑩</sup>
					兼任	講師	柳川 堯 (70)	平成22年4月	医療統計学		担当者追加 (22)
					兼任	講師	早川正信 (39)	平成22年4月	統計学		担当者追加 (22)
兼任	講師	新田 照夫 (56)	平成19年4月	生涯学習論							兼任教員担当のため削除 (22)
					兼任	講師	林田 京子 (61)	平成20年4月	英語演習ⅠA 英語演習ⅠB 英語演習ⅡA 英語演習ⅡB 英語演習ⅢA 英語演習ⅢB		担当者追加 <sup>⑩</sup> 担当者辞退 (22)
兼任	講師	原田平輝志 (50)	平成18年4月	基本科学実習							平成19年4月専任として就任 したため削除 <sup>⑨</sup>
兼任	講師	藤田 涉 (51)	平成19年4月	基礎の数学 統計学							
兼任	講師	益田 宣弘 (59)	平成22年4月	薬事関係法規Ⅰ 薬事関係法規Ⅱ							専任教員担当のため削除 (22)
兼任	講師	宮崎信千代 (65)	平成22年4月	看護学概論	兼任	講師	新川 哲子 (59)	平成23年4月	看護学概論		担当者変更 (23)
					兼任	講師	北村 妙子 (54)	平成23年4月	看護学概論		担当者変更 (23)
兼任	講師	八尋 百子 (57)	平成18年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	兼任	講師	Kelly L. MacDonald (36)	平成19年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB		通年科目を学期完結型に 変更したことによる <sup>⑩</sup> 平成19年3月 八尋講師就任 辞退による担当者変更 <sup>⑩</sup> 担当者辞退 (23)
					兼任	講師	橋本 千鶴子 (54)	平成23年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB		担当者変更 (23)
兼任	講師	横田 貞記 (64)	平成18年4月	基礎の生物学 機能形態学Ⅰ 機能形態学実習							平成19年4月専任として就任 したため削除 <sup>⑨</sup>
兼任	講師	飯島 美夏 (34)	平成21年4月	界面化学 香粧品学							専任教員担当のため削除 (23) 科目担当を専任に変更のため科目 削除 <sup>⑩</sup>

兼任	講師	大戸 茂弘 (48)	平成20年4月	薬剤学Ⅱ							科目担当を専任科目削除 (21)
兼任	講師	甲斐 雅亮 (55)	平成19年4月	薬品物理化学Ⅰ 薬品物理化学Ⅱ							
兼任	講師	末宗 洋 (56)	平成22年4月	総合演習							専任教員担当のため削除 (23)
兼任	講師	富永 義則 (61)	平成22年4月	創薬化学							専任教員担当のため削除 (23)
兼任	講師	藤戸 博 (54)	平成22年4月	治験コーディネーター論 総合演習							専任教員担当のため削除 (23)
兼任	講師	山田 英之 (53)	平成21年4月	臨床薬物代謝学							
兼任	講師	牟田 美信 (46)	平成23年4月	実用薬学英会話							兼任教員担当のため削除 (23) 担当科目追加② 担当科目の辞退 (21)
					兼任	講師	西俣 貴幸 (37)	平成21年4月	異文化適応演習Ⅰ 異文化適応演習Ⅱ 英語演習ⅠA		科目新設による担当者追加 (21) 担当者辞退 (22)
					兼任	講師	Brendan Van Deusen (28)	平成21年4月	英語演習ⅠA 英語演習ⅠB 英語演習ⅡA 英語演習ⅡB 英語演習ⅣA 英語演習ⅣB		担当者追加 (21) 担当科目辞退 (22)
					兼任	講師	章 潔 (31)	平成21年4月	異文化適応演習Ⅰ 異文化適応演習Ⅱ 中国語ⅡA 中国語ⅡB		担当者の退職による変更 (22) 担当者の追加 (22)
					兼任	講師	秋山 理枝 (55)	平成21年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ		担当者の追加 (21) 担当科目辞退 (22) 担当者の追加 (21) 担当者辞退 (22)
					兼任	講師	田原 陽一 (75)	平成22年4月 平成20年4月	英語演習ⅣA 英語演習ⅣB 英語演習ⅢA 英語演習ⅢB 英語演習ⅢB		担当者追加 (22) 担当者追加② 担当科目の辞退 (21)
					兼任	講師	仲野 優 (25)	平成22年4月	茶道文化ⅠA 茶道文化ⅠB 茶道文化ⅡA 茶道文化ⅡB		担当者追加 (22)
					兼任	講師	龍 美穂子 (61)	平成22年4月	茶道文化ⅡA 茶道文化ⅡB 茶道文化ⅢA 茶道文化ⅢB 茶道文化ⅣA 茶道文化ⅣB		担当者追加 (22)
					兼任	講師	安部 雅隆 (28)	平成22年4月	英語演習ⅠA 英語演習ⅡA 経営学 英語演習ⅠB 英語演習ⅡB		担当者追加 (22) 担当科目追加 (23) 平成23年4月から国際観光学科専任教員として就任 (23)
					兼任	講師	岡 侑子 (41)	平成22年4月	英語演習ⅠA 英語演習ⅡA 英語演習ⅢA 英語演習ⅢB		担当者追加 (22) 担当者辞退 (23)
					兼任	教授	榊原 隆三 (62)	平成23年4月	学際連携研究 在宅医療概論		科目新設による追加 (23)
					兼任	教授	豊島 律 (62)	平成23年4月	学際連携研究		科目新設による追加 (23)
					兼任	教授	姫野 勝 (70)	平成23年4月	学際連携研究		科目新設による追加 (23)
					兼任	教授	山本 経之 (63)	平成23年4月	学際連携研究 地域の理解と連携		科目新設による追加 (23)
					兼任	教授	山本 主税 (67)	平成23年4月	地域の理解と連携		科目新設による追加 (23)
					兼任	准教授	永石 和夫 (60)	平成23年4月	学際連携研究 地域の理解と連携		科目新設による追加 (23)
					兼任	講師	金 相勲 (39)	平成23年4月	スポーツ実習Ⅰ スポーツ実習Ⅱ		担当者追加 (23)
					兼任	講師	林 俊介 (35)	平成23年4月	地域の理解と連携		科目新設による追加 (23)
					兼任	助教	田井 健太郎 (31)	平成23年4月	スポーツ実習Ⅰ スポーツ実習Ⅱ		担当者追加 (23)
					兼任	講師	福江 正人 (73)	平成23年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ		担当者追加 (23)

						兼任 講師	大塚 珠奈 (41)	平成23年4月	英語演習ⅠA 英語演習ⅠB 英語演習ⅡA 英語演習ⅡB 英語演習ⅢA 英語演習ⅢB	担当者追加(23)
						兼任 講師	Rife Stephen Edward (58)	平成23年4月	英語演習ⅠA 英語演習ⅠB 英語演習ⅡA 英語演習ⅡB	担当者追加(23)
						兼任 講師	山口 拓 (38)	平成23年4月	基本科学実習 薬理学実習 応用薬理学 薬物治療学Ⅰ 薬物治療学Ⅱ	担当者追加(23) 平成23年7月変更書 提出予定(23)
						兼任 講師	山田 勝士 (65)	平成23年4月	薬理学Ⅲ(各論・末梢) 薬理学実習 応用薬理学 臨床薬理学	担当者追加(23) 平成23年7月変更書 提出予定(23)

(注)・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- ・なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
- ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

## (2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
18	7	7	0	32	18	19	7	5	13	44	4	
(10)	(6)	(1)	(0)	(17)	(5)	[1]	[0]	[△2]	[13]	[12]	[△14]	

(注)・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	原口セリナまゆみ	就任辞退による（後任として藤原准教授が平成19年4月に就任）
2	教授	渡邊武	就任辞退による（後任として岸原教授が平成20年4月に就任）
3	教授	永田修一	健康上の理由による（後任として非常勤講師2名を採用。残りの科目も担当非常勤を採用予定）
4	教授	荒川正幸	本人死亡による（後任は、現専任教員にて対応）
5	准教授	北市清幸	家庭の事情・親の介護による （後任は、現専任教員及び非常勤講師2名（今年度変更書提出の上、専任教員として採用予定）にて対応）
6	准教授	安河内孝徳	家庭の事情による（後任は、現専任教員にて対応）

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>原口講師の就任辞退（平成19年3月）を受け、後任として藤原准教授を採用した。担当科目は同一であるため（平成19年9月教員資格審査済）影響はない。</p> <p>渡邊教授の就任辞退（平成19年3月）を受け、後任として岸原教授を採用した。担当科目のうち、教養セミナーA・B、免疫学Ⅰ・Ⅱ、ウイルス学、免疫学実習、臨床医学概論、病理学、臨床生理学実習、総合演習については平成19年9月教員資格審査済。疾病学Ⅰ、疾病学Ⅱについては頼原教授を平成21年4月に採用し、疾病学Ⅰ、疾病学Ⅱを含む9科目を平成21年1月教員資格審査済。これにより渡邊教授の担当科目はすべて後任を補充した。</p> <p>永田教授の健康上の理由による退職（平成19年3月）については、みなし専任（実務家）教員として採用しているものであるが、基準に定める実務家教員（専任）5名を満たしているため、永田教授に代えて薬局経営学担当の非常勤講師を平成20年9月、薬局管理学担当の非常勤講師を平成21年4月に採用。薬局POS概論については、非常勤講師を平成23年4月に採用。但し、履修者数が開講要件不足のため不開講。</p> <p>荒川教授（平成22年12月本人死亡）については、全ての科目を現専任教員が担当することで対応した。〈後任担当〉生物物理化学：中原助教（平成22年1月教員資格審査済）、薬学英語：田中（宏）准教授（平成23年1月教員資格審査済）、製剤学：神谷助教（平成23年1月教員資格審査済）、治験コーディネイト論：仮屋園教授・廣田講師（いずれも平成23年1月教員資格審査済）、薬剤学：大磯講師（平成21年1月教員資格審査済）・神谷助教（平成20年1月教員資格審査済）／その他の科目については、現担当教員にて対応可能なため、支障はない。</p> <p>北市准教授の退職（平成23年3月）については、現専任教員及び今年度専任教員として採用予定の非常勤講師2名にて対応した。〈後任担当〉基本科学実習：山口非常勤講師、薬学英語：田中（宏）准教授（平成23年1月教員資格審査済）、薬理学実習・応用薬理学：頼原教授（平成22年9月教員資格審査済）・山口非常勤講師・山田（勝）非常勤講師、臨床薬理学：山田（勝）非常勤講師、臨床生理学実習：岸原教授（平成19年9月教員資格審査済）、薬物治療学Ⅰ・Ⅱ：山口非常勤講師／その他の科目については、現担当教員にて対応可能なため、支障はない。</p> <p>安河内准教授の退職（平成22年7月）については、全ての科目を現専任教員が担当することで対応した。〈後任担当〉生化学Ⅲ：田中（宏）准教授（平成23年1月教員資格審査済）、生化学実習：藤原准教授（平成23年1月教員資格審査済）、細胞生物学Ⅱ：田中（宏）准教授（平成19年9月教員資格審査済）／その他の科目については、現担当教員にて対応可能なため、支障はない。</p> <p>学生に対しては、オリエンテーションで教員の変更を伝えている。</p>
---

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時 (17年12月)</p>	<p>1. 「統計学」が選択必修、「医療統計学」が必修という教育課程は、体系的から考えると必ずしも適切であるとは言えないので、学生への履修指導を徹底するとともに、改善すること。</p>	<p>1. 教育課程の体系的性を勘案し、「統計学」を必修とした。(18)</p>	
	<p>2. 大学設置基準第18条第3項を踏まえ、適正な学生の定員管理を行うこと。</p>	<p>2. 平成18年度は入学定員120名に対し入学者数125名。(18) 2. 平成19年度の入学者数は101名であった。(19) 2. 平成20年度の入学者数は102名であった。(20) 2. 平成21年度の入学者数は85名(編入1名含む)であった。(21) 2. 平成22年度の入学者数は86名であった。(22) 2. 平成23年度の入学者数は100名(編入1名含む)であった。(23)</p>	
	<p>3. 実務実習については、関係機関との連携を図り、着実に実施すること。</p>	<p>3. 薬学部に実務実習運営委員会を立ち上げた。さらに本委員会と長崎県佐世保地区病院薬剤師会および薬剤師会との間で「薬学早期体験学習及び実務実習運営協議会」を立ち上げ、それぞれ病院部会、薬局部会とした。現在は薬学早期体験学習の実施について協議している。実務実習については、月1回の定例協議会を開催し協議していく予定。(18)</p> <p>3. カリキュラムを改め、薬学実務実習として「事前学習」と「実務実習病院・薬局」に大別し、「事前学習」をモデルコアカリキュラムに準拠した内容で体系的に実施することとし、事前学習の位置づけをより明確なものとした。 平成22年度の実務実習の実施に向けて、実務実習調整機構との協力の下で、薬学教育者ワークショップを開催するとともに教員の派遣を行い、70%以上の教員がワークショップ経験者となり、その中からタスクフォースも誕生している。また、実務実習受け入れ病院・薬局との最終調整、学生とのマッチング等を実施しているところである。(21)</p> <p>3. 5年次は、「実務実習・病院」、「実務実習・薬局」、「卒業研究・演習」の3期に分けて実施される。病院および薬局への学生の配属先はすでに決定した。受入先、教員、学生に対して、ハラスメント対策や実施・評価方法に関する説明会を開催し、万全を期している。また、実務実習委員会の傘下に、評価資料や指導書作成のための資料の編集などを行う「評価資料編集部会」を設置し、実務実習の実施体制を強化した。さらに保険の加入や緊急連絡網の設置により、事故や問題等の発生に対する対策も講じている。 3. 薬局・病院の指導薬剤師に対する実務実習のスケジュール等に関する事前説明会を開催し、履行した。(22)</p>	<p>3. 平成18年6月から九州・山口薬学実務実習調整機構の正式メンバーになる予定。平成18年5月に3名の教員を薬学教育者ワークショップ(熊本)に派遣予定。(18)</p>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未 履 行 事 項 について の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (17年12月)</p>		<p>●平成22年度および23年度は、九州山口地区実務実習調整機構のもと、九州各県薬剤師会および病院薬剤師会と連携し、実習施設のマッチングを行った。●22年度実務実習においては、九州各県薬剤師会および病院薬剤師会と連携し、実務実習開始前の実習説明会、実習期間中（1期、2期終了時）の反省会および初年度実務実習終了時の反省会へ本学教員が参加した。また、22年度実務実習を振り返るフォーラムを本学が主催し、学生、教職員、指導薬剤師が一堂に集まって討議した。●平成23年度実務実習においても、地区薬剤師会主催の事前説明会に本学教員が参加している。また、23年度新しく実習を行う施設には、事前に実務家教員が施設訪問をして連携の方法などについて説明した。一方、学生に対しては3回、実務実習に関する全体説明会を実施した。</p> <p>●実習施設と大学の連携</p> <p>1) Webを利用した指導連携</p> <p>① 学生：「実務実習記録：日誌」、「形成的評価表への自己評価（事前・前期・中期・後期）」、「成長報告書」などへの記載。</p> <p>② 指導薬剤師：学生が記載したものへのコメントあるいは評点の入力。総括評価表への評点の入力。</p> <p>③ 学生担当教員：学生が記載した内容の確認とコメント入力。</p> <p>※施設から報告された「SBO評価表」および「実務実習記録：日誌」を大学で評価（形成的評価）し、実習施設ごとに指導薬剤師と指導方法など相談・検討。必要があれば随時、教員施設訪問。</p> <p>2) 実習開始前（事前訪問）、実習前期、中期および後期間中の教員施設訪問</p> <p>①実習開始前（事前訪問） 学生担当の全教員で実習開始前までに施設訪問を実施する。 実務実習（病院・薬局）スケジュール、連携方法（日誌等の資料、緊急連絡など）、施設からの要望など。</p> <p>②実習前期、中期および後期 教員訪問時、大学が作成した「指導書」、「SBO評価表」と「実務実習記録：日誌」、および巡回時の観察状況により、学生、指導薬剤師および担当教員の2者面談、3者面談を実施。 ・「実習の進捗状況の確認」・「指導薬剤師との意見交換」・「指導薬剤師、担当教員および学生の3者による合同評価（形成的評価）」・「学生相談対応」などを実施し、《総合実習》において、大学での総括的評価の参考となる価値判断を行った。</p> <p>3) その他の連絡方法</p> <p>①専用薬学部メールアドレス ②実習中の緊急連絡方法「実習緊急連絡ルート」（23）</p>	
	<p>4. 教員の補充を必要とされた3授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。</p>	<p>4. 「薬剤学Ⅰ」は専任教員の立石教授および神谷助教が平成20年2月教員資格審査済。㉔</p> <p>4. 「薬剤学Ⅱ」は専任教員の仮屋園教授および大磯講師が平成21年1月教員資格審査済。「薬物動態学」は専任教員の仮屋園教授および大磯講師が平成21年1月の教員資格審査済(21)</p>	<p>4. 「薬剤学Ⅰ・Ⅱ（3年次配当）」、「薬物動態学（4年次配当）」が担当できる専任教員の採用に努めている。㉔㉕</p> <p>4. 「薬剤学Ⅱ」は配当年次を4年次に変更し学生の履修に影響がないように配慮した。「薬剤学Ⅱ」、「薬物動態学」が担当できる専任教員の採用に努めている。㉔</p>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (18年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (19年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (20年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (21年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (22年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (23年5月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <薬学部 薬学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 卒業要件単位数 全学共通科目36単位 専門科目150単位	① 全学的な共通科目の見直しを受け、かつ、学生の専門性をより高めるため、卒業要件単位数の見直しを行った。 全学共通科目30単位 専門科目156単位 個別具体として、総合演習6→12単位

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制	
a 委員会の設置状況	
(1) 全学教授会の下に設置されている各種委員会に薬学部委員を任命し、委員会運営に携わっている。	
(2) 薬学部薬学科会議の下に下記の各種委員会を設置している。 教務委員会、学生委員会、入試・募集委員会、就職委員会、CAI運用委員会、CBT・国家試験対策委員会、OSCE実施委員会、CBT実施委員会、CBT再試験対策委員会、実習（学内）委員会、実務実習運営委員会、研究等倫理委員会、安全管理委員会、自己点検評価委員会、FD委員会、薬学教育第三者評価実施・検討委員会、共同機器管理委員会、図書選定委員会、薬用植物園運営委員会、薬学研究センター運営委員会、模擬試験問題作成精選委員会 ※関係規程等は、別紙1のとおり	
FDに関しては、長崎国際大学自己点検・評価委員会（委員長：学長）の小委員会として教育向上研究会を組織し、全学的に取り組むとともに、各種委員会と連携しながら、教員の資質の維持向上に努めている。	
b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）	
(1) 全学的取り組み（教育向上研究会）開催状況	
本学部設置後の開催状況は以下のとおり	
平成18年10月	第12回「改革期における大学教育職員のあり方」～第三者評価に堪えうる大学づくり～ 財団法人日本高等教育評価機構研究開発部部长 高山裕司 (参加者：全学教員)
平成19年 3月	第13回「ユニバーサル段階の大学における初年次教育の現状と課題」 社会福祉学科初年次教育研究会 石倉健二ほか (参加者：全学教員)
平成19年 5月	第14回「卒業生アンケート調査結果報告」 国際観光学科 青山有三 (参加者：全学教員)
平成20年 2月	第15回「薬学部早期体験学習の教育効果について」 ～薬学生の学習モチベーション向上および医療人の心構えの修得を狙って～ 薬学部薬学科 立石正登 (参加者：全学教員)
平成20年 5月	第16回「大学院教育向上に向けて」 学校法人九州文化学園 教育改革推進室 室長 山中秀光 (参加者：全学教員)
平成20年11月	第17回「ユニバーサル段階の大学における初年次教育の現状と課題 その2」 社会福祉学科初年次教育研究会 原田奈津子他2名 (参加者：全学教員)
平成21年 2月	第18回「学生支援体制の充実に向けて」 人間社会学部社会福祉学科 黒山竜太 (参加者：全学教員)
平成21年 6月	第19回「学生相談における今日的課題への理解と対応」 九州工業大学保健センター 准教授 菊池悌一郎 (参加者：全学教員)
平成21年10月	第20回「少子化時代の大学」 公立大学法人熊本県立大学理事長 蓑茂寿太郎 (参加者：全学教員)
平成22年 1月	大学教育・学生支援事業（学生支援推進プログラム）教職員FD&SD 「現在の採用戦線報告及び厳しい環境下での就職指導ポイント」 株式会社毎日コミュニケーションズ 西日本キャリアサポート統括 大阪支社 企画広報部 土山勇 (参加者：全学教員)
平成22年 1月	第21回「双方向授業への誘い」 立命館大学共通教育推進機構 教授 木野茂 (参加者：全学教員)
平成22年 5月	第22回「大学におけるハラスメントを防止するために」 弁護士法人女性協同法律事務所 弁護士 松浦恭子 (参加者：全学教員)
平成22年 7月	第23回「長崎大学のiportfoliomakerについて」 長崎大学大学機能開発センター 准教授 古賀掲維 (参加者：全学教員)
平成22年 9月	第24回「魅力ある大学づくり、学部づくりー立教・多摩・宮城・国際教養大学の経験からー」 財団法人日本総合研究所理事長、元多摩大学学長、元宮城大学学長 野田一夫 (参加者：全学教員)
平成23年 1月	第25回「『学士課程教育』におけるポートフォリオの活用ーポートフォリオの基礎知識と活用事例を中心にー」 人間社会学部国際観光学科 助教 乙須翼 (参加者：全学教員)

- 平成23年 3月 第26回「働くことについて～就職活動と就職後～」  
長崎県産業労働部政策監室 政策監 田平浩二 (参加者：全学教員)
- 平成23年 3月 第27回「全学を巻き込んだ社会人基礎力育成の工夫と実践  
～社会が必要とする人間力をいかに育成するか～」  
日本文理大学人間力育成センターセンター長、工学部建築学科准教授 吉村充功  
(参加者：全学教員)
- 平成23年 3月 第28回「介護保険制度の今後の動向～これからの現場で求められる人材とは～」  
独立行政法人福祉医療機構 福祉貸付部長 中井孝之 (参加者：全学教員)
- 平成23年 3月 第29回「観光立国の実現に向けた政策と人材育成」  
観光庁総務課企画室 室長 鈴木史朗 (参加者：全学教員)

(2) 学科の取り組みの開催状況

随時開催し、直近の学科会議に議案を提出する。定例学科会議は、毎月第3水曜日15：30～開催している。

c 委員会の審議事項等

教務委員会 (15名)	全学教務委員会に準じ、薬学科の教務に関する事項を審議する。
学生委員会 (8名)	全学学生委員会に準じ、薬学科の学生に関する事項を審議する。
入試・募集委員会 (7名)	全学入試・募集委員会に準じ、薬学部の入試・募集に関する事項を審議する。
就職委員会 (5名)	全学教務委員会に準じ、薬学科の就職に関する事項を審議する。
CAI運用委員会 (8名)	CAIの運用・管理に関する事項を審議する。
CBT・国家試験対策委員会 (9名)	10回開催 (うち8回はメール会議) した。内容は、薬剤師国家試験の分析、受験指導、模擬試験実施、等国家試験受験指導全般に関する事項を審議する。
OSCE実施委員会 (5名)	共用試験のOSCEを円滑に行える体制整備と試験実施に関する事項を審議する。
CBT実施委員会 (4名)	7回実施。内容はCBT試験システム及び実施要領の確認など試験実施における体制整備と実施に関する事項を審議する。
CBT再試験対策委員会 (24名)	共用試験のCBT再試験の受験指導全般に関する事項を審議する。
実習 (学内) 委員会 (14名)	薬学部で実施される学生実習全般に関する事項を審議する。
実務実習運営委員会 (6名)	早期体験学習、薬学実務実習 (事前学習、実務実習) の体制整備と実施に関する事項を審議する。
研究等倫理委員会 (7名)	3回開催。内容は、ヒトを対象とする研究、動物実験、遺伝子組換え実験の審査等に関する事項を審議する。
安全管理委員会 (4名)	薬学部の施設、教育、実験、研究における安全管理等に関する事項を審議する。
自己点検評価委員会 (6名)	全学自己点検評価委員会に準じ、薬学部の自己点検評価に関する事項を審議する。
FD委員会 (6名)	薬学部のFDに関する事項を審議する。
薬学教育第三者評価実施・検討委員会 (17名)	薬学教育第三者評価の実施、特に評価21の実施に関する事項を審議する (4回開催)。
共同機器管理委員会 (5名)	2回開催 (いずれもメール会議)。内容は薬学部共通使用機器等の管理運営に関する事項を審議する。参加人数は7人。
図書選定委員会 (20名)	薬学部教育に係わる図書の選定に関する事項を審議する。会議は開いてはいないが、メールにて各研究室の図書選定員に7月と12月の2回の図書選定の依頼を行っている。
薬用植物園運営委員会 (4名)	薬用植物園の運営・管理に関する事項を審議する。現在の所、開催実績は無い。
薬学研究センター運営委員会 (6名)	研究員の受け入れ等に関する事項を審議する (6回開催)。
模擬試験問題作成精選委員会 (13名)	薬学教育協議会問題部会の内容の整理分析ならびに試験前・後開設授業計画書を作成する。模擬試験、実力試験等の問題作成および精選に関する事項を協議する。

② 実施状況

a 実施内容

・授業方法についての検討及び研究会

下記のように、薬学部における関連委員会で検討の上、学科会議で審議承認され実施する。

- ①導入教育(教養セミナー)の授業方法についての検証と改善---教務委員会・FD委員会
- ②リメディアル教育(特に化学)についての検討---教務委員会・FD委員会
- ③早期体験学習のあり方検討会---実務実習運営委員会
- ④試験及び試験解説授業の導入等に関する検討---教務委員会
- ⑤学生の理解度深化のための補習授業の開催に関する検討---教務委員会
- ⑥実力試験の導入等に関する検討---教務委員会
- ⑦実務実習の教育充実のための検討---実務実習運営委員会
- ⑧シラバスのあり方に関する検討---教務委員会・FD委員会
- ⑨新任教員に対する研修に関する検討---FD委員会
- ⑩双方向型授業の導入促進に関する検討---教務委員会・FD委員会

・授業評価アンケート

- ①全学自己点検・評価委員会が実施する学生による授業評価のアンケートを実施している。
- ②薬学部各教員が必要に応じ随時個別に担当教科の授業評価アンケートを実施している。
- ③各教員は、①②を点検・評価し、授業の改善・充実に努めている。

・教員相互の授業参観 (FD委員会)

平成22年度より、FD委員会による実施体制のもとに、授業改善の目的で、授業公開と教員相互による授業参観を実施している。授業参観を通して教員間で意見交換を行い、各教員の授業改善に努める。平成22年度は、前期・後期に各1回実施した。平成23年度も前期・後期に各1回実施を予定している。

・教員・学生・地域薬剤師の資質向上についての研究会

- ①新薬研究会の開催
- ②輸液研究会の開催
- ③SP (模擬患者) 養成講座の開催
- ④薬剤師教育協力者養成講座

・新任教員のための研修会

平成21年度4月に実施した。

・薬学研究発表会（FD委員会）

平成22年度より薬学部の若手教員を対象として実施している。研究へのモチベーションの向上を目的としている。平成22年度は、9月に3名の教員が研究発表を行った。平成23年度も9月に3名の教員による研究発表を予定している。

b 実施方法

全学的取組は全学の専任教員を対象として実施する。  
薬学科の取組は学科の専任教員を対象として実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学的取組は全学教授会終了後に実施するため、すべての教授会構成員が参加する。  
薬学科の取組は、取組に応じて分担しているが、テーマによっては全教員の参加をお願いしている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員個々人の授業改善に反映すると共に、関係委員会においても取り上げ、組織的な教育改善に取り組んでいる。とくに「学生による授業評価のアンケートに対する自己点検・評価報告書」を作成し、毎年、授業改善の努力目標を明確にしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

（1）大学全体の自己点検・評価報告書

a 公表時期

・平成23年7月末 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、希望者に原則として各1冊を配布  
・大学ホームページ上に公開

（2）薬学部の「自己評価21」

a 公表時期

・平成22年4月10日 公表

b 公表方法

・「自己評価21」の冊子を各薬学部教員に配布した。  
・大学ホームページ上にPDF形式で公開している。

③ 認証評価を受ける計画

（1）大学全体の認証評価

・認証評価機関「日本高等教育評価機構」による評価を平成19年度に受け、管理運営及び財務の基準において保留判定。  
・平成21年度に両基準について再評価を受け認定。  
・次回は、平成26年度までに認証評価機関「日本高等教育評価機構」の評価を受ける予定。

（2）薬学部の教育評価

・一般社団法人 薬学教育評価機構による評価を受ける予定である。（平成24年度以降）。

（注）・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年8月1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www1.niu.ac.jp/about/disclosure.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

## 各種委員会関係規程 等

- 1 長崎国際大学 薬学部薬学科履修細則
- 2 長崎国際大学 薬学部研究等倫理規程
- 3 長崎国際大学 薬学部動物実験指針
- 4 長崎国際大学 薬学部共同機器管理委員会規程
- 5 長崎国際大学 薬学部附属薬用植物園管理規程
- 6 長崎国際大学 薬学部薬学研究センター規程



## 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

### <薬学部薬学科（平成18年度設置）>

#### （1）設置の趣旨・目的

長崎国際大学は設置母体の九州文化学園の建学の精神に基づき、「“いつも人から、そして心から”」をモットーに、人間尊重、平和の推進、自己の確立を礎とし、高度な学問と実学を通して、ホスピタリティを学び、よって品格と情操を陶冶し、人間形成に資する。」ことを教育理念とし、大学開設以来、すべての構成員の理解と協力のもと、着実な発展を遂げてきた。

「薬学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」において提言された新しい構想の薬学（部）教育への期待は、長崎国際大学の教育理念と一致するものである。即ち、新しく設置した薬学部は、既設の人間社会学部・健康管理学部と同様に、人間尊重を基本理念に、薬学教育を「モノ」を中心とした学問から、「ヒト」を中心とした学問へ軸足を移した薬学教育を展開することをねらいとしている。

このねらいを基に、医療に貢献できる能力と倫理観、個々の患者に対応したコミュニケーション能力をもった豊かな人間性、国際的に活躍できる能力、研究心と創造性、生涯にわたり学び続ける意志と能力を身につけた実践的薬剤師を育成する教育・研究を行うことが、本学部の設置の趣旨・目的である。

すなわち、社会の期待と要請に応え、地域社会に貢献し、そして圏域受験生の要望に応えることが目的である。

#### （2）達成状況

開学後6年目を迎え、現在最高学年が6年次生となった。1年次の教養教育を中心とした全学共通科目、専門基礎科目、早期体験学習、さらに、2・3年次の薬学専門科目及び科目以外の企画（付設の長崎リハビリ病院における臨床体験学習）等における学修を通して、設置の趣旨に掲げた「“モノ”を中心とした学問から“ヒト”を中心とした学問へと軸足を移した薬学教育の展開」については、途中経過であるが達成されつつあると考えられる。

また、1年次におけるリメディアル教育を強化するとともに、4年次までの教育成果を点検し、設置の趣旨・目的をより達成できるカリキュラムへの修正等を随時検討し実施しているところである。5年次は、1年間を3期に分け、「実務実習・病院」と「実務実習・薬局」と「卒業研究・演習」を実施する。実務実習の準備状況は万全であり、問題ない。

#### （3）総括評価・所見

設置の趣旨・目的を踏まえた教育を心掛けているところである。長崎国際大学薬学部は、薬剤師養成課程が6年制に移行すると同時に設置した学部であるため、社会からの注目度は高く、特に一期生への期待は大きいといえる。よって、社会が求める薬剤師を養成することを念頭に置き教育を実施すると共に、地域において患者から信頼される薬剤師・医療スタッフ像をイメージさせながら、実務実習をはじめとした現場研修を重視し、薬学専門教育並びに実務家育成教育に重点をおいているところであり、一定の成果は得られたと評価している。

一方では、この数年間で6年制薬学部の新設が相次ぎ、受験生の確保が難しい状況になってきたことから、受験生の質の確保に問題が生じ、設置の趣旨・目的にかなう教育内容を一定のレベルで教授することに対する工夫が求められる状況になってきたといわざるを得ない。そのために、初年度教育の充実、日常的な補習授業の実施など具体策を検討、実施するつもりであり、すでに実施しているものもある。